

官報

號外

大正十一年二月二日 木曜日

印刷局

第四十五回衆議院議事速記録第九號

大正十一年二月一日(水曜日)午後一時九分開議

議事日程 第八號 大正十一年二月一日

午後一時開議

第一 國有財産整理資金特別會計法案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 借地借家調停法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 六大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 治安警察法中改正法律案(清瀬一郎君外一名提出) 第一讀會

第八 治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提出) 第一讀會

第九 治安警察法中改正法律案(横山金太郎君外三名提出) 第一讀會

第十 治安警察法中改正法律案(松本君平君外一名提出) 第一讀會

第十一 決議案(大岡育造君外七名提出)

○議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案

提出者 大道寺慶男君

民事訴訟法中改正法律案

提出者 大道寺慶男君

移民局設置ニ關スル建議案

提出者 副島 義一君

(以上一月三十一日提出)

植物病理研究所設置ニ關スル建議案

提出者 伊藤 廣幾君

片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案

提出者 植場 平君

(以上二月一日提出)

決議案(ジョフル元帥歡迎ノ件)

提出者 大岡 育造君

川原 茂輔君

本田 恆之君

若尾 璋八君

決議案(議長不信任ノ件)

提出者 安達 謙藏君

小泉又次郎君

小山 松壽君

軍備縮少ニ關スル決議案

提出者 大養 毅君

(以上一月三十一日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

礦業被害ニ關スル質問主意書

提出者 古賀三千人君

(以上一月三十一日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 昨三十一日常任委員補選ノ結果左ノ如シ

第一部選出懲罰委員吉田磯吉君(井上剛一君補選)

第三部選出豫算委員松山幸次郎君(福井三郎君補選)

第六部選出請願委員佐藤寅太郎君(春日俊文君補選)

第八部選出豫算委員長谷川宗治君(指田義雄君補選)

第九部選出請願委員平田民之助君(松山幸次郎君補選)

一 昨三十一日鐵道敷設法案委員植原悅二郎君辭任

ニ付其ノ補闕トシテ砂田重政君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス、日程第一國有財

産整理資金特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第一 國有財産整理資金特別會計法案(政府提出)

(第一讀會)

國有財産整理資金特別會計法案

第一條 國有財産整理資金特別會計法

一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 國有財産整理資金ハ國有財産ノ整理處分ニ

因ル收入及附屬雜收入ヲ以テ之ニ充ツ但シ其ノ收

入ニシテ他ノ特別會計ノ歳入ニ屬スルモノ及國有林

野又ハ北海道國有未開地ノ處分ニ因ルモノニ付テハ

此ノ限ニ在ラス

第三條 國有財産整理資金ハ國有財産ノ整理ニ關シ

必要ナル事務費、營繕費其ノ他ノ諸費ニ之ヲ使用ス

第四條 國有財産整理資金ヲ使用セムトスルキハ其

ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ組入レ一般ノ歳入トシテ拂出

スヘシ

第五條 國有財産整理資金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大

藏省預金部ニ預入ルヘシ

第六條 一般ノ歳計上必要アル場合ニ於テハ豫算ノ

定ムル所ニ依リ國有財産整理資金ヲ第三條ニ規定

スル費途以外ノ營繕費ニ使用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年國有財産整理資金ノ歳入歳出

豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ

提出スヘシ

第八條 國有財産整理資金ニシテ毎年度内ニ使用セ

サルモノハ之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

第九條 國有財産整理資金ノ毎年度歳出豫算ニ於テ

ル支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

附則

本法ハ大正十一年度ヨリ之ヲ施行ス

○議長(奥繁三郎君) 神野大藏次官

(政府委員神野勝之助君登壇)

○政府委員(神野勝之助君) 國有財産整理處分ニ依リ

マシテ生ズル所ノ收入ハ、收入アリマスルニ從テ、隨時之ヲ

一般ノ經費ニ使シマフト云フコトハ、其當ヲ得ナイノデア

リマシテ、又國有財産ノ整理ノ爲ニハ移轉費、營繕費其他

ノ費用ヲ要スルコトガ多アルノデアリマスソレ等ノ費用ハ

一般會計ニ累テ及ボサズシテ、國有財産ノ整理ニ依テ得

タル收入カラ支辨ヲ致ス方ガ適當ト考ヘルノデアリマス、此

理由ニ依リマシテ、國有財産ノ整理處分ニ依テ得ル所ノ

收入ハ、原則トシテ國有財産ノ整理處分ニ要スル費用ニ充テ、安ニ他ノ經費ニ充テナイヤウニ致シタイト云フ趣意ヲ以テ、國有財産整理資金特別會計ト云フモノヲ設置致シタイト思フノデアリマス、御審議御協賛ヲ願ヒマス

○議長(奧繁三郎君) 尋イデ第二右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成「ト呼フ者アリ」

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、乃テ動議ノ如ク決シマス、國賓タル佛蘭西ノ「ジョッフル」元帥ガ傍聴ニ見エマスカラ、暫時此機會ニ於テ休憩ヲ致シマス

午後一時十七分休憩

午後一時三十一分開議

○議長(奧繁三郎君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス〔此時「ジョッフル」元帥正面傍聴席ニ著ク〕

〔拍手起ル〕

○議長(奧繁三郎君) 唯今「ジョッフル」元帥ガ傍聴席ニ臨マレマシタ、日程變更ノ動議ガ出テ居リマス

○岩崎勳君 茲ニ議事日程ヲ變更シテ大岡育造君外七名提出決議案、即チ「ジョッフル」元帥歡迎ノ件ヲ議題トシ、提出者ノ説明ヲ求メ、且ツ院議ヲ表示セラレンコトヲ望ミマス〔拍手起ル〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎勳君ノ日程變更ノ動議ニハ御異議ガナシト認メマシタ、政府ノ同意ヲ得マシタ、仍テ日程ハ直ニ變更ヲ致シマシタ、茲ニ大岡育造君外數名提出ノ「ジョッフル」元帥歡迎ノ決議案、其提出ノ趣旨辯明ヲ求メマス〔拍手起ル〕——大岡育造君

決議案

決議

歐洲大戰ニ於ケル佛國國民ノ義勇トジョッフル元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大

ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我が國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表ス

右決議ス

右決議ス

〔拍手起ル〕

○大岡育造君 曩ニ聯合軍ノ總指揮官タリシ「ジョッフル」元帥ハ、今ヤ親シク來朝セラレテ、佛國民ノ至高ナル使命ヲ我が皇室及政府ニ致シ、本日ハ我が衆議院ヲ訪問シテ居ラレマス、吾々ハ此機會ニ於テ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表シタイト思フノデアリマス〔拍手起ル〕私ハ「ジョッフル」元帥ヲ迎フルニ當リマシテ、先ヅ思ヒ起スコトハ「マルヌ」ノ激戰ノコトデアリマス〔拍手〕遺憾ナカラ歐洲ノ大戰ハ勃發ノ當初ニ於テ、聯合軍ノ勢ヒ甚ダ振ハザリシ時代デアリマシタ、若シ當時「ジョッフル」元帥ノ乾坤一擲ノ放膽ナル作戰ヲ以テ局面ノ大轉換ヲ爲スニ非ザレバ、大戰ノ前途ハドウナクデアラウカト思ハレルノデアリマス〔拍手〕「マルヌ」ノ戰捷ハ眞ニ正義ノ開ノ第一聲デアッタノデアリマス〔拍手〕是ヨリシテ漸時ニ最後ノ勝利ニ向テ進ンダノデアリマス、〔マルヌ〕ノ戰捷微カセバ、光榮アル平和モ出來難カッタノデアリマス〔拍手〕「ジョッフル」元帥微カリセバ正義ノ權威モ勝ツコトガ出來ナカッタカ知レナイノデアリマス〔拍手〕是ハ併ナガラ私ノ一家言デアアリマセヌ、軍事專門家ノ定評ノアル所デアリマス〔拍手〕「キナナ」元帥ガ英吉利ノ議會ニ於テ斯ウ云フ評ヲシテ居リマス「ジョッフル」ハ當ニ一ノ大ナル將軍デアアルノミナラズ、又實ニ一ノ大ナル人格者デアアルト申シテ居リマス〔拍手〕洵ニサウデアラウト思ヒマス、偉大ナル人格者ニシテ而シテ後初テ克ク此重大ナル作戰ノ決行ガ出來ルノデアリマス〔拍手〕吾々ハ茲ニ我カ國民ヲ代表シテ此偉勳赫々タル元帥ヲ迎ヘテ、親厚ナル敬意ヲ表スルノデアリマス〔拍手〕同時ニ又佛國民ガ克ク此人ニ托スルニ此大任ヲ以テシタル其賢明ニ對シテモ、深キ敬意ヲ表スルノデアリマス〔拍手〕我國ト佛國トハ多年親厚ノ間柄デアッテ、參戰以來著シク親善ヲ加ヘタノデアリマス、而シテ又昨年我が東宮殿下ノ佛國御訪問ト、今年「ジョッフル」元帥閣下ノ來朝トニ依リマシテ、兩國ノ友交ハ愈益、親厚ニナリマシタノデアリマス〔拍手〕茲ニ吾々ハ決議ヲ求メル爲ニ之ヲ朗讀致シマス

歐洲大戰ニ於ケル佛國國民ノ義勇トジョッフル元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大

動トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我が國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表ス

右決議ス

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 本決議案ハ原案ノ通り速ニ全會一致ヲ以テ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奧繁三郎君) 本案ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシ「拍手起ル」

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマスガ、尙ホ鄭重ノ式ヲ履ミマシテ、起立ニ依ッテ之ヲ決シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔議員起立、拍手起ル〕

○議長(奧繁三郎君) 滿場一致本案ハ可決致シマシタ〔拍手〕——日程第三借地借家調停法案ノ第一讀會ヲ開キマス、政府委員ハ一名モ居リマセヌカ——政府委員出席アリマセヌカハ延バシマス、日程第五、六大都市行政監督ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第五 六大都市行政監督ニ關スル法律案

〔政府提出〕

第一讀會

六大都市行政監督ニ關スル法律案

市ノ公共事務及法律ノ定ムル所ニ依リ市又ハ市長ニ屬スル國ノ事務ニ關シ府縣知事ノ許可又ハ認可ヲ要スル事件ニ付テハ東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市及名古屋市ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可又ハ認可ヲ受ケシメサルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今議題ニナリマシタ法案ハ、昨本院ニ於テ可決ニ相成リマシタモノデゴザイマスルガ、會期切迫ノ折柄デ、貴族院ニ於テ審議未了ニナタモノデゴザイマス、既ニ昨年説明申上ゲマシタ如ク、近頃都市

發展ノ趨勢ニ從ヒマシテ東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、所謂六大都市ハ其人口カラ申シ、經濟ノ力カラ申シ、又事務ノ上ヨリ申シマシテモ、遂ニ他ノ都市ヲ凌駕致シテ居リマシテ、其實力ハ府縣ト肩ヲ並ベテ居ル次第アリマス然ルニ之ヲ劃一的ニ他ノ都市ト同様ニ取扱ヒマスルコトハ、今日ノ實際ニ於テ適當ヲ缺イテ居ルト考ヘマス、仍テ是等六大都市ノ監督ニ付キマシテハ特例ヲ設ケマシテ、市ノ公共事務ニ付テ、或ハ又市政以外ノ國ノ委任事務等ニ付キマシテモ、市制並ニ各種ノ法律ニ規定セラレテアル事項ノ中デ、市長ニ委任ヲ致シマシテ許可認可ノ手續ヲ省略致スト云フコトハ、最も適當ト考ヘマシテ茲ニ此法案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、作間耕逸君

〔作間耕逸君登壇〕

○作間耕逸君 提案ノ趣旨及内容ニ付キマシテハ、只今主務大臣ノ御説明ガアリ、尙ホ本案ハ前期議會ニ於キマシテ既ニ幾多ノ質問應答ヲ經テ居ル所デアリマスルシ、當院ハ之ヲ可決致シマシタ位デアリマスルカラ、案ノ趣旨ト内容ハ一應諒解致シテ居ル所デアリマスルケレドモ、只此機會ニ於キマシテ、本案ニ牽聯シテ重大ナリト認メマスル二三ノ事項ニ付テ、政府當局ノ所見ヲ質シテ置キタイト思フノデアリマス、其一點ハ政府ガ都市行政上帝都ニ對シマスル觀念如何、即チ平たく申シマスレバ、我が内務當局ハ一體東京市ニ對シテ何ト心得テ居ラマスルカ、都市行政ノ標準ハ單ニ人口、戶數或ハ財政、經濟事業及施設、是等ノ都市ノ狀態ノミヲ標準ト致シマシテ、而シテ都市ノ性質、即チ帝國ノ首都デアルト云フ如キ特殊ノ位置ニ重キヲ置イテ、之ヲ特別ニ認メラレルト云フコトヲシナイノデアリマセウカ、勿論現在ニ於キマシテモ、警察行政ノ如キニ至リマシテハ、東京府ニハ既ニ警視廳ヲ設ケラレ、總監ヲ置カレテ警察行政ノ全部ヲ一任サレテアリマスル、而シテ又多少ノ行政組織ヲ一般ト異ニ致シテ居ル所モゴザイマスケレドモ、大體ハ東京市モ他ノ地方ノ大都市、即チ大阪や、神戸や、京都や、名古屋及横濱ト同視サレマシテ、從來大小ノ施設ガ凡ソ一律ノ方針ヲ以テ之ヲ取扱ハレテ居ル傾向ガアルノデアリマス、例ヘバ道路ノ如キ、或ハ水道事業即チ上地下水ノ補助ノ如キ關係ヲ見マシテモ、從來東京市民ガ特ニ哀訴歎願ヲ

致シマセヌケレバ、總テ其國庫補助金或ハ下附金等ノ率ハ、他ノ地方的都市ト一樣ニサレテアルノデアリマス、否、哀訴歎願ヲ重ネマシテモ同様ニ取扱ハレテ居ル場合ガ多イノデアリマス、斯様ニ國庫ノ補助ヲ仰ギマスルヤウナ問題ニ立至リマシテ、何レノ問題デモ、東京市カラ主務省ニ其問題ヲ持出シマストキハ、主務省ハ大抵何時デモ他ノ大都市ガ直ニ追隨シ來ルヲ惧レ、而シテ彼此レ權衡ヲ失フニ至ラウト云フコトヲ頗ル苦慮セラレ、風ガアルノデアリマス、斯ノ如キ御態度デハ此大東京市ガ帝國ノ首都デアルト云フ特別ノ面目ヲ全ク致シマスルコトガ、ドウシテ出來マセウ、歐米先進國ノ都市制度ト其政策ヲ見マスト云フト、多クハ宮城又ハ中央政廳等ノ所在シマス所ノ首都ハ、他ノ地方的都市ト區別サレテ、全力ヲ擧ゲテ特種ノ便益ト補助ヲ與ヘラレテ、以テ其發達完備ヲ企圖スルニ汲々ト致シテ居ルノデアリマス、是レ申ス迄モナク一國ノ首都ハ其國ノ唯一ノ玄關デアツテ、又客間ヲ兼ねテ居ル次第デアリマスガ、都市ノ發達ト經營ト云フモノハ、洵ニ列國文化ノ標的ト相成テ居ルノデアリマス、現内閣ハ大體ニ於キマシテ、私共ハ都市政策ニ頗ル冷淡ナル御態度デアルト思フノデアリマス、殊ニ都市ヲ虐待セラル、カノ如キ感ジモ致スノデアリマス、我が東京市ハ洵ニ輦轂ノ下ニ位スル所ノ大都市デアリマスニ拘ラズ、政府ガ帝都ニ對スル觀念ガ斯ノ如ク冷淡デアリ、又斯ノ如ク間違テ居リマスルバカリニ、是ガ情ナクモ一ツノ主ナル原因トナリマシテ、東京市ガ諸君ノ御承知ノ通り、今日總テノ事業ガ悉ク停滯致シマシテ、其體裁内容ガ共ニ整頓ヲ致シテ居リマセヌ次第デアリマスカラ、是ハ畏クモ上ハ皇室ニ對シ奉リテ洵ニ恐懼ノ次第デアリ、又外ハ列國ニ對シマシテモ慚愧ノ至リデアル、又我が二百三十六萬ノ東京市民ノ爲ニモ悲洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、否、日本全國ノ爲ニモ悲シムベキ事柄デアラウト思ヒマス、政府ハ將來東京市ノ事業並ニ經濟ニ對シマシテ、他ノ地方的都市ト之ヲ區別サレテ、特殊ノ援助ヲ爲ス誠意ト眞意ヲ持テ居ラマスカ、ドウデアリマス、其對帝都ノ觀念如何ト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ伺ヒタイノハ政府ノ地方市町村、殊ニ各都市ニ對シマスル財政監督ノ方針デアリマス、近來地方自治體即チ各市町村、殊ニ各都市ノ財政ハ一般ノ二物價ノ騰貴ト事業ノ濫興ト、又市費ノ浪費トニ依ッテ逐年膨脹ヲ極メマシテ、殊ニ我が東京市ノ如キハ最も其傾向ガ顯著ナ

ルモノガアルノデアリマス、昨十年度ノ豫算ノ如キハ普通市經濟特別會計トヲ合セマス、純歲入ガ一億六百萬圓、又純歲出ガ一億五百万圓ニ上リマシテ、本年度ハ更ニ其五割ヲ増加致シタヤウナ次第ゴザイマシテ、他ノ大都市モ想フニ之ニ比例致シテ増大スル一方デアラウト思ヒマス、然ルニ其財政検査ノ機關ト致シマシテハ、唯市制ノ第四百四一條ニ市長ハ參事會員ヲ立會ハセマシテ出納ノ検査ヲ時ニヤリ得ル規定ニナツテ居リマス點ト、今一ツハ市制ノ第何條カニ基キマシテ、市會又ハ市會ノ舉ゲタ委員會ニ於テ、市ノ一般事務ト共ニ決議ノ執行及出納ニ關スル事務ヲ検査シ得ルコトノ此二箇條ニ過ギナイノデアリマス、其以外ハ大體ニ於キマシテ一般的、或ル特殊ノ重要ノ事件ニ付テ特ニ行政上ノ監督トシテ、内務、大藏兩大臣、又ハ府縣知事ノ事前ノ許可ヲ受クルト云フコトニナツテ居ルニ過ギナイノデアリマス、國家ノ經濟ニ獨立ノ地位ト特殊ノ權限ヲ持ッテ居リマス彼ノ會計検査院ノヤウナ機關ト云フヤウナモノハ、現在ニ於テハ全ク設ケラレテ居ナイノデアリマス、固ヨリ地方自治體ノ自治行政ニ就キマシテハ、成ベク國家の監督ヲ受クルト云フコトヲ少クシナケレバナラス、而シテ獨立自主ノ權限ヲ尊重致シマスルコトハ、是ハ自治行政ノ發達向上ヲ促ス所以ニ相違ナイノデゴザイマスケレドモ、併ナガラ官僚的ノ干渉ニ依ラズシテ、別ニ現在ノ市制ニ認メマスル以外ニ、是レ以上更ニ一層有效有力ナル機關ヲ設ケラレテ、之ニ相當ノ權限ヲ與ヘラレテ、以テ市ノ會計検査ヲ爲サシムル途ヲ開カル、モ、此時節柄最モ相當ノ事デハナイカト思フノデアリマス、内務省ガ一昨年カラ昨年ニ亘リマシテ、我が東京市ト京都市ニ於キマシテ、色々市政ノ検査ヲ致シマシテ、而シテ是等ノ問題ニ付テ屢、警告注意ヲ發セラレタヤウデアリマスカラ、ソレガ現在大都市ノ財政ガ如何ニ紊亂ヲ致シテ居リ、如何ニ非道ノ事ガ多イト云フコトヲ御認ニナツタデゴザイマセウカ、若シ只今本員ガ申上グルヤウナ特別ノ機關ガ出來上ルト致シマシタナラバ、ソレ等ノ弊ト云フモノヲ根本的ニ除クコトモ出來、又市ノ經費ヲ節約シテ市民ノ負擔ヲ輕減スルコトモ出來、非違ヲ糾彈シテ以テ綱紀ヲ肅正スルノ一端トモ相成ラウカト心得ルノデアリマス、之ニ對シマスル政府ノ所見ハ如何デアリマス、是ガ第一ノ質問デアリマス、最後ニ御尋致シタイノハ、例ノ特別市制ノ問題デアリマス、此問題ニ付キマシテハ、私が再び茲ニ喋々ヲ重ネル

必要ハナイノデアリマシテ、前議會ニ於キマシテモ既ニ論議ヲ盡サレテ居リマス、尙ホ當院ニ特別市制促進案ト云フ決議案ヲ全會一致可決サレテ居ルノデアリマス、尤モ前議會ニ於キマシテモ、本案及區制案ヲ共ニ政府カラ提出セラレマシテ、市區ノ權限ヲ擴張スルト云フヤウニ圖ラレマシテ、尙ホ政府ハ特別市制案ハ、本案ヤ區制案トハ全ク別物デアルト云フコトヲ屢、聲明ヲシテ居ラレマスケレドモ、本員等ハ本案ノ如キ即チ或ル特定ノ事務ニ就テ、市長ガ勅令ノ定ムル所ニ從テ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要シナイトスルヤウナ事柄ハ、如何ニ程度ノ低イ特別市制デゴザイマシテモ、又如何ニ内容ノ小サイ特別市制デゴザイマシテモ、苟モ特別市制ガ成立ナマス以上ハ、必ズヤ其市制ノ一條件トナラネバナラヌ所ノ案件デアラウト、心得ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ本員等ハ如何様ニ考ヘテ見マシテモ、本案ヲ以テ所謂濟シ崩シノ特別市制案、年賦還濟ノ特別市制案、斯様ニ考ヘルノデアリマス、前ノ議會ニ於キマシテハ、會期モ切迫致シテ居ラタコトデアリマスカラ、本員等モ甚ダ本意デハゴザイマスガ、政府ノ立場ヲ諒ト致シマシテ、而シテ案ノ通過ヲ援ケタ次第デゴザイマスケレドモ、承リマス所ニ依マスト、其後政府ニ於キマシテハ、特ニ内務省ノ高等官ヲ海外ニ、特別市制ノ觀察ト調査ノ爲ニ派遣セラレテ、而シテ其立案ヲ急ガレタト云フコトデアリマス、デアリマスカラ、吾吾ハ多大ノ樂ミト喜ビトヲ以テ、今回コソハ必ズヤ特別市制案ガ冒頭ニ於キマシテ提出サルベキコトデアラウト期待シテ居リマシタニ拘ラズ、本期議會ニ於キマシテ又此本案ヲ提出セラレマシタト云フコトハ、前議會同様ノ事ヲ繰返サレルノヲ見マシテハ、洵ニ失望ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス（拍手）特別市制ハ政府ガ之ヲ本期議會ニ御提案相成リマスル御誠意御用意アルノデゴザイマセウカ、若シゴザイマスレバソレヲ承リタク、又例ニ依テ未ダ調査中デアルト云フ御答辯デゴザイマシタナラバ、セメテハ其調査ノ經過、現在如何ナル程度ニ御調査ガ出來上テ居ルカト云フ事ダケデモ、セメテ明確ニ此際承リタイト思ヒマシテ、此質問ヲ致シタ次第デアリマス（拍手）

○議長（與繁三郎君） 床次内務大臣

（國務大臣床次竹二郎君登壇）

○國務大臣床次竹二郎君 作問君ニ御答致シマス、第一ノ帝都ニ對シテハ他ノ都市ト區別シテ何カ考ヲ持テ居ルカ、斯ウ云フ御話デアリマス、御承知ノ通り警察費連帶

支辨金、土木費ノ補助又ハ行路病人ノ補助ト云フヤウナ、マダ他ニモアルカモ知レマセヌガ、今考ヘ出シタ所デハサウ云フヤウナ點ニ付テハ特別ニ取扱ニナテ居ル、是ハ御承知デアラウト思フ、特ニ現内閣ガ帝都ニ對シテ冷淡ナルガ如ク御話ノアツタコトハ、是ハ現内閣ト雖モ、歷代ノ内閣ト雖モ、何等異ル所ハアリマセヌ、此上ニモ特別ニ詮議ヲ要スルヲ可ナリト認ムル時ニハ致ス場合モアリマセウ、只今現在ノ所デハ今御話申シタヤウナコトハ特別ニナテ居リマス、ソレカラ其次ニ、都市ノ財政監督ニ付テ此上ニモ何カ方法ヲ立ッル考ハナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスガ、此度ノ豫算ニ都市課ヲ新設スルコトニ致シテ居リマス、是ハハ帝都ヲドウト云フ譯デハナイノデ、近來都市ノ發達著シモノガアッテ隨テ其事務モ餘程複雑ヲ極メテ參リマシタカラ、特ニ一課ヲ設ケテ以テ事務ノ敏捷ニ運バント期スル次第デ、自ラ監督上ニ就テモ是マデヨリ、ヨリ以上ノ注意ヲ拂フコトガ出來ラダラウト思ヒマス、御話ノ中ニ、特別ニ財政監督ノ方法ヲ是レ以上ニ講ズルカ、國ニ依テハサウ云フヤウナ制度ヲ確カ立テ、居ル處モアルヤウデアリマス、議論ハナイデモアリマセヌガ、只今ノ所デハ左様ナ考ハ持チマセヌ、現在ノ法規ニ基イテ執行致ス積リデ居リマス、特別市制ヲ本期議會ニ提出スル考ハナイカ、是ハ昨年ノ本案ヲ提出シタ際ニモ説明致シマシタ如ク、特別市制ノ制定ハ中々審議ヲ要スベキ點ガ多イノデアリマス、ソレ故ニ只今濟シ崩シト云フ御言葉ガアリマシタガ、至極ソレハ當テ居ルノデス、先ズ特別市制ヲ設ケルニ、是ナラバ間違ナカラウト思フ所カラ立法ヲ致シテ參ル考デアルト、斯ウ昨年申シタノデアリマスガ、本案モ即チ其積リデ出來テ居リマス、氣ガ付イテ此處ナラ間違ナカラウト云フモノカラ先ヅ實行シテ行キタイ、而シテ所謂特別市制ナルモノハ、實ハ一ノ案ヲ得テ持テハ居リマス、既ニ草案ダケハ出來上リマシタ、サリナカラ直ニ之ヲ提出スルト云フノニ付テハ尙考慮ヲ要スル次第ガゴザイマスノデ、果シテ本期議會ニ提出スルヤ否ヤハ未ダ此處申上デ兼ネマス（拍手）

○作問耕逸君 只今ノ答辯ノ漏レタ點ヲ一寸補ッテ戴キタイ、ソレハ第一ノ東京市ニ對シテ他ノ大都市ヨリモ別ニ少シ奮發シテ戴イテ、此下水道路其他ノ事業ハ國庫補助金ヲ特別ニ取扱テ戴ク思召ガアリマスルカ、或ハ飽マデモ大阪以下ノ地方的都市ト同様ニシテ行カレルト云フコトデア

○議長（與繁三郎君） 床次内務大臣

（國務大臣床次竹二郎君登壇）

○國務大臣（床次竹二郎君） 只今御答申シタ警察費連帶支辨金、東京ダケハ特別デアリマス、ソレカラ道路ノ補助費モ他ヨリハ歩合ガ宜シクナテ居リマス、連帶金支辨金、土木費ハ、東京市ハ十二分ノ五ニナテ居ル、他ハ三分ノ一デアリマス、兎モ角ソレハ異テ居リマスガソレ以外ハ事實ノ問題ニ接シテ、其必要アリト思フ時分ニ左様ニ致シテ宜シカラウト思ヒマス（拍手）

○議長（與繁三郎君） 板野友造君

（板野友造君登壇）

○板野友造君 他ノ機會ニ御尋フ致シテモ宜シイト思ヒマスガ、丁度此機會ガ適當デアラウト思ヒマスカラ、内務當局ニ御尋フ致シテ置キタイト存ジマス、ソレハ府縣會ノ市部會廢止ノ件デアリマス、要スルニ府縣會ノ市部會ハ、御承知ノ如ク本案ノ六大都市ノ外ニ、六大都市ニ屬スル府縣即チ東京府、京都府、大阪府、神奈川縣、兵庫縣、愛知縣、此六縣ノ外ニ廣島縣ノ此ノ七府縣ニ於キマシテハ、縣會ノ組織ガ市部會ト郡部會ニ別レテ居ル、此事ハ御承知ノ如ク市部會ト云フモノガ出來マシタノハ、元ト只今ノ市町村制ガ出來マセヌ前、明治十四年太政官ノ布告ニ基イテ初テ出來タモノデアッテ、此都市ニ於テハ市ト云フモノガ未ダ獨立シテ居ナイ、市ガ獨立シテ居ナクテ、其經濟狀態ヲ見ルト郡ト市ト同一ノ負擔ヲシテ、其金ハ殆ド都市經營ニ使ハレルト云フコトニナリマスカラ、郡ノ住民ハ甚ダ迷惑ヲスル、ソコデ經濟ヲ別ニスル必要ガアッテ、此當時、明治十四年ニ於キマシテ、區部會ト郡部會ガ出來、此區部會ガ今日ノ市部會ト云フモノニ變テ來タノデアリマスケレドモ、其後明治二十二年ニ市町村制ガ出來マシタ以上ハ、此規定ハ此時ニ廢止セナクテレバナラヌモノヲ、言ハバ忘レテ居タモノノト思フデ居ル、其結果ハドウナルカト申シマスレバ、東京市ト大阪市、京都市ト云フヤウナ是等七大都市ニ於テハ市ノ事ニ關シテ、市參事會市會ト云フモノガアル外ニ、府縣會ノ中ニモウ一ツノ市部會ト云フモノガアッテ、二ツノ市會ガアルト云フコトニナル、政令ニ出ヅルト云フ結果ニナツテ居リマスカラ、理論上洵ニ之ヲ存置スル必要ノ無イコトハ明カダト考ヘル、サウシテ實際ヲ申シマスルト云フト、是ハ市ト府縣トノ競争ヲヤッテ、地方自治ノ爲ニ甚ダ弊害ノアルコトハ私多辯ヲ要セナイト思ヒマス、ダカラ市ノ獨立ト云フ趣旨カラ言ハバ、市部會ト云フモノハ廢止スベキモノダト思ヒマ

スガ、御當局ノ御意見ハ如何デアリマスかと云フコトニ歸著
ヲ致シマス、理論上ニ甚ダ迂ナルモノデアラデ、殊ニ弊害アルト
信ジマスガ、當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ、御答辯ヲ煩
ハシマス

○議長(奥繁三郎君) 床次内務大臣

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマスガ、只今御論
ジニナク其中ニハ、私モ御同感ヲ表スル點ハアリマス、サリ
ナガラ大體ノ上カラ考慮致シマシテ、現在ノ制度ヲ變ヘル
考ハ今ニ持チマセス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 質疑モ他ニアリマセヌカラ、日程第
六、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ 選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指
名アラシコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議
ノ如ク決シマシタ

○岩崎勳君 再ビ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提
出致シマス、即チ便宜上茲ニ日程第三ニ掲ゲタル政府提
出ノ借地借家調停法案ノ第一讀會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ
求メ、且ツ之ヲ審議シ、引續キ日程第四ニ掲ゲタル右議案
ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題トセンコトヲ望ミマ
ス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程
ハ變更セラレマシタ、日程第三借地借家調停法案第一讀
會ヲ開キマス

第三 借地借家調停法案(政府提出)

第一讀會

借地借家調停法案
借地借家調停法

第一條 土地又ハ建物ノ貸借ノ地代、家賃其ノ他借地
借家關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ
目的タル土地又ハ建物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所
ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

當事者ハ合意ヲ以テ前項ノ區裁判所ノ所在地ヲ管
轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條 調停ノ申立ハ爭議ノ實情ヲ明ニシテ之ヲ爲ス
コトヲ要ス

第三條 當事者義務ノ回避其ノ他不當ノ目的ヲ以テ
濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ

其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四條 爭議ノ目的タル土地又ハ建物ノ數個ノ裁判
所ノ管轄區域内ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受
ケタル地方裁判所又ハ區裁判所相當ト認ムルトキハ
決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所又ハ管轄區
裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所力調停
ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繁
屬スルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

第六條 裁判所ハ期日ヲ定メ調停申立人及相手方ヲ
呼出スヘシ此ノ場合ニ於テハ調停ノ結果ニ付利害關
係ヲ有スル者ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

第七條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ
要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ裁判
所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スルコトヲ得

第八條 調停手續ハ之ヲ公開セス但シ裁判所ハ相當
ト認ムル者ノ傍聴ヲ許スコトヲ得

第九條 費用ヲ要スル行為ニ付テハ當事者ノ一方又ハ
雙方ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第十條 申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之
ヲ爲スコトヲ得

口頭ヲ以テ申述ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所書記其ノ
調書ヲ作ルコトヲ要ス

第十一條 調停ニ付テハ裁判所書記ノ調書ヲ作ルコト
ヲ要ス

第十二條 調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條 裁判所ハ調停前調停ノ爲必要ヲ認ムル處
分ヲ命スルコトヲ得

第十四條 裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停
委員會ヲ開クコトヲ得

當事者雙方ノ申立アルトキハ裁判所ハ調停委員會ヲ
開クコトヲ要ス

第十五條 調停委員會ハ調停主任一人及調停委員
二人以上ヲ以テ之ヲ組織ス

第十六條 調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁
判所長ノヲ指定ス

調査委員ハ特別ノ知識經驗アル者ニ就キ毎年豫メ
地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ
依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任
ノヲ指定ス

第十七條 調停委員會ハ當事者ノ意見ヲ聽キ適當ト
認ムル者ヲシテ調停ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條 調停委員及前條ノ規定ニ依リ調停ノ補助
ヲ爲シタル者ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス

第十九條 調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任
ノヲ指揮ス

第二十條 調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半數ノ
意見ニ依ル可否同數ナルトキハ調停主任ノ決議スル
所ニ依ル

第二十一條 調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス

第二十二條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ第
六條、第七條第一項但書第二項、第八條但書及第
十三條ニ規定スル裁判所ノ權限ハ調停委員會ニ屬
ス

第二十三條 調停委員會ハ當事者又ハ利害關係人ノ
陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ
得

調停委員會ハ調停主任ヲシテ證據調ヲ爲サシメ又ハ
之ヲ區裁判所ニ囑託スルコトヲ得

證據調ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス

證人及鑑定人ノ受クヘキ旅費、日當及止宿料ニ付テ
ハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

第二十四條 期日ニ於テ調停成ラサルトキハ調停委員

會ハ爭議ノ目的タル事項及手續ノ費用ニ付適當ト認ムル調停條項ヲ定メ其ノ調停ノ正本ヲ當事者ニ送付スルコトヲ要ス

當事者カ前項ノ正本ノ送付ヲ受ケタル後一月内ニ調停委員會ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ服シタルモノト看做ス

調停委員會ハ申立ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

當事者カ異議ヲ述ヘタルトキハ調停委員會ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スルコトヲ要ス

第二十五條 調停委員會第三條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得

第二十六條 調停成リタルトキ又ハ第二十四條第二項ノ規定ニ依リ當事者カ調停ニ服シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

調停不認可ノ決定ニ對シテハ民事訴訟法ニ從ヒ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 裁判所ハ調停カ著ク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ調停不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ調停ハ認可決定アリタルトキニ限り裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第二十九條 調停ノ申立ヲ爲スニハ手数料ヲ納付スルコトヲ要ス

第三十條 當事者又ハ利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ記録ノ閲覧若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ヲ付與シ裁判所書記ニ求ムルコトヲ得但シ當事者カ事件ノ繁屬中記録ノ閲覧又ハ謄寫ヲ爲ス場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セス

第三十一條 第十八條ノ旅費、日當及止宿料並前二條ノ手数料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員山内確三郎君登壇〕

○政府委員(山内確三郎君) 借地借家調停法案ニ付キマシテ、提出ノ理由ヲ簡單ニ御説明ヲ致シマス、昨年借地法及借家法ノ兩案ガ衆議院及貴族院ニ於テ可決セラレマシタル際、借地借家ニ關シテハ裁判手續以外ニ一ノ調停ノ手續ヲ定ムルコトヲ必要トスル、サウ云フコトヲ希望スルト云フ此希望條件ノ下ニ兩案ハ可決セラレタリデアリマス、即チ此案ハ此希望條件ニ基キマシテ、提出致シタ次第デゴザイマス、内容ハ即チ裁判手續外ニ、一ノ委員制度ニ依ッテ借地借家ノ調停ノ手續ヲ爲スト云フノ趣意デアリマス、而シテ其手續ヲ指揮シ、之ヲ執行スル主ナル機關ハ裁判所デアル、裁判所ノ判事ヲ主任判事ト致シマシテ必要アル場合ニ知識經驗アル所ノ即チ法律家以外ノ人ヲ之ニ參加サセマシテ、圓滿ナル調停ヲ圖ル、其手續ヲ定メタ法案デアリマス、趣旨ハ簡單デアリマス、ドウノ慎重審議ノ結果御協賛アラント希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 作間耕逸君ヨリ質問ノ通告ガアリマス——作間耕逸君

〔作間耕逸君登壇〕

○作間耕逸君 本案ハ元來實體法デアリマスル借地法、借家法ト共ニ當然之ニ附隨シテ制定セラルベキ筈ノモノデアリマス、然レドモ、昨年御承知ノ通りニ政府ハ唯借地法、借家法デケテ出サレタニ止リマシタカラ、當院ニ於キマシテモ、又貴族院ニ於キマシテモ、同様ノ見解ヲ以テマシテ、本案ノ如キ手續法律ヲ提出制定ヲ希望致シタデアリマス、大木司法大臣モ其催促ニ促サレテ、公ニ之ヲ提案スルト云フコトヲ約束致サレマシテ、本案ハ其約ヲ履ンデ御提出ニ相成タモノデゴザイマセウガ、併シ世間ノ實際ヲ見マスト云フト、借地法、借家法施行以來、借地借家ニ關シマスル訴訟及事件ハ少シモ減退ヲ致シテ居リマセウ、又一面ニ於キマシテ、地代、家賃ハ高クナリ、造作ハ値ガ上リ、敷金ノ數ハ多クナリ、尙敷金ノ外ニ權利權能マデモ流行スルヤウニ相成リマシタ、都市ノ住民ハ之ガ爲メ、具ニ生活ノ難ニ惱マサレテ居リマス、次第デアリマスルコトヲ思ヒマセウ、政府當局ガ當然借地法、借家法ト共ニ提案サレナケレバナラナカッタ此緊要ナル手續法ノ制定ハ、約一年遅レマシタ爲ニ生ジタル所ノ責任モ亦決シテ輕カラズト信ジマスル尤モ、住宅難ニ對シマスル緩和政策ノ方ハ、主トシテ内務大臣ノ主管ニ屬スル部分ガ多イノデゴザイマスルカラ、本案ノ審議ニ

止リマスル此場合ニ於キマシテ、司法當局ニ對シテ是レ以上責任ヲ追窮スルコトハ見合セマシテ、直ニ本案ニ入ッテ重要ナル二點ノ立法上ノ主義ニ關シマシテ、根本問題ニ對シテ御尋ヲシテ、爾餘ノ法律上、實際上ノ問題ハ、總テ委員會ニ譲ラウト存ジマスル、其一ハ調停ノ範圍ト裁判ノ關係デアリマス、本法案中調停ノ範圍トシテハ、土地建物ノ賃借、地代借賃、其他借地借家ノ關係ヲ規定シテゴザイマス、カ、地代、家賃ノ値上値下、即チ其程度、又造作及建物等ノ時價、其他賃借ノ期間等ニ付キマシテ、此法律ニ依ッテ調停セラルベキモノトハ勿論思量致シテ居リマスルケレドモ、更ニ進ンデ借地人借家人ノ義務ヲ履行セシムルコト、而シテ義務ヲ履行シナカッタ場合、又ハ六箇月ノ豫告期間ヲ置キマシテ、家屋ノ明渡ヲ求メタリスルヤウナ、解約ニ基ク所ノ土地建物ノ明渡、即チ住居退去、是等ノ實行迄ヲモ矢張此法律ニ依ッテ調停セシマル、所謂紛議ノ中ニ含マセラル、御意見デアリマセウカ、私モ一應ハ左様ニ考ヘマスケレドモ、若シ左様ダト致シマスレバ、是ハ一般裁判ノ範圍及效力ヲ犯スヤウナ非常ニ強大ナル結果ヲ調停其モノニ與ヘラル、コトニ相成リマシテ、爲ニ私ハ此調停ノ範圍ヲ極度迄擴張メマス、ソレガ爲ニ其效力非常ニ強大ニ相成リマス結果、本來ノ裁判ガ之ガ爲ニ犯サル、ト云フヤウナ危險ト不安ヲ感ズル次第デアリマス、ソレニ對シマスル所ノ司法當局ノ御見解ハ如何デゴザイマセウカ、今一ツハ調停機關ノ性質ト組織ノコトデアリマス、此法律案ニ依リマスレバ調停機關トシテハ調停委員會ガアリ、而シテ此調停委員會ハ民間選出ノ調停委員ニ主任判事ヲ加ヘマシテ、判事自身モ亦調停委員ノ一人ト相成ルノデアリマス、是ハ見ヤウニ依リマシテハ、此民間選出ノ委員ガ一種ノ裁判ニ干與致スコトニ相成リハシマス、左様ニナリマスルト云フト、本案ハ所謂三審主義ニ象リマシタモノトシカ認メラレマセウガ、併シ是ハ我國ノ裁判制度ノ根本義ト抵觸スル所ハアリハ致サナイカト思フノデアリマス、尤モ調停ハ飽迄モ單ニ調停デアッテ、之ヲ裁判ニ化セシムルガ爲ニハ、更ニ裁判所ノ認可決定ヲ與フルノ手續ヲ執ッテ居ルノデアルカラ、調停其モノハ決シテ裁判デハナイト云フ御論ヲセラルカモ知レマセウケレドモ、本員等ノ考ヘマス所デハ、調停ハ寧ろ單ニ裁判所ノ參考タルニ止メシメテ、調停委員會ニハ裁判官ヲ加ヘズ、又丁度ソレハ現ニ政府ガ

密院ニ御出シニテ居ト傳ヘラレテ居リマス、彼ノ陪審制ニ則テ、一種ノ諮問機關トナサレタ方々、寧ロ一層適切デハナイカト信ズルノデアリマス、此點ニ就キマシテ政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、又委員選出ノ方法ハ單ニ地方裁判所長ハ、特別ノ知識經驗アル者ノ中ヨリ之ヲ選出スルト云フコトニナラデ居ルノデアリマス、佛蘭西ノ如キニ至リマシテハ、借地人側ヨリ二名、借家人側ヨリ二名選出シテ居リマシテ、サウシテ其數ヲ五名トシ、單ニ知識經驗アル者ヨリト云フヤウナ漠然タル規定ニハ相成ッテ居ラナイノデアリマス、獨逸ノ法制モ亦之ニ似テ居ルノデアリマス、併シ政府ガ單ニ斯様ナ漠然タル規定ヲ拵ヘラレマシテ、諸委員ヲ選任セラル、ニ當テ、實際公平適切ヲ期スル方法ニ付テ信ズル所ノ御手續ハ如何デアリマス、ソレヲ併セテ何ッテ置キタイト思フノデアリマス(拍手)

〔政府委員山内確三郎君登壇〕

○政府委員(山内確三郎君) 只今ノ第一ノ御質問ハ適用ノ範圍如何ノ問題デアリマデ、是ハ只今作問君ノ言ハレル通りニ、借地借家關係デアレバ、爾後其解約ニ基イテ、明渡或ハ延滞地代等ニ付テ一借賃等ニ付テ爭アル場合ニ於キマシテモ、廣ク借地關係ニ付テノ爭議ト見ルノデ、ソレカラ第二點ハ稍、重要ナ問題デアリマス、即チ裁判官ナラザル者ガ裁判ニ干與スルト云フ結果ニハナラヌカト云フノガ御質問ノ趣意デアル、併ナガラ御承知ノ通り此調停ハ和解ナリ、或ハ仲裁デアルノデアル、現行ノ民事訴訟法ノ下ニ於キマシテモ、或ハ破産法ノ下ニ於キマシテモ、仲裁ト云フコト、或ハ其調停即チ協和ト云フコトハ別ニ規定ガアルノデ、民事訴訟ノ仲裁手續ハ勿論一私人ノ仲裁ニナルノデ、ソレカラ破産法ノ協和ハ、債權者ノ多數決ニ依ッテ協約契約ト云フモノガ出來ル、即チ是ハ裁判ニアラズシテ全ク和解デアリマス、當事者ノ意思ニ依ル所ノ一ツノ契約デ、學理上嚴格ニ言フナラバ、契約ナリヤ否ヤ問題デアルガ、大體契約ト同一視シテ差支ナイ所ノ法律上ノ行為デアル、サウシテ此借地借家ニ關シテ調停ヲスルト云フコトハ、當事者雙方ガ其調停ニ服スル——調停ニ承諾ヲ與ヘルト云フコトニ依ッテ、茲ニ一ツノ新契約ガ出來ルモノト見テ差支ナイ、ソレニ裁判所ガ干與シテ其協和ヲ誘フ、協和ノ手續ノ進捗ヲ圖ルト云フノガ、即チ此手續法デアリマス、其實質ハ當事者ノ契約ニ成立スルノデアリマス、デ最終ニ此認可決定ヲ

與ヘルノハ此契約ニ訴訟ヲ更ニ起スコトナクシテ執行力ヲ與ヘタイト云フ、即チ使法ヲ圖ラニ過ギナイノデアリマシテ、調停ハ全ク契約デアル、當事者ノ意思ヲ強制シテ之ニ從ハシメル所ノ裁判トハ、全ク其裁判效力ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、裁判ニ裁判官以外ノ者ヲ干與セシメルト云フ趣意ハ毛頭ナイノデアル、サウ云フ次第デアリマシテ、陪審ト之ヲ同視スベキモノデハナイノデアル、又三審ト同視スベキモノデモナイノデアリマス、故ニ陪審法案トハ全ク其趣旨ヲ異ニ致シテ居リマス、ソレカラモウ一ツ其間ニ御質問ノアタノハ、何ガ故ニ利害關係ノ岐レル所ニ從テ、地主ト借地人ト、或ハ家主ト借家人ト、同數ノ人ヲ兩方カラ出シテ對審サシテ、サウシテ此契約ヲ結バセナイカト云フ趣意デアリマス、大體ノ趣旨ハソレデ宜イト私ハ考ヘテ居ル、併ナガラ是ハ事情ニ依ッテハ必ズ地主ト借地人、家主ト借家人ガ兩方ニ別レテ、中ニ判事力ヲ入ラデ、サウ云フ事ヲスルト云フノミニ限ラズシテ、當事者ノ趣旨ニ依ッテ、或ハ意思ニ依ッテ必シモ借地人ト地主、家主ト借家人ト、兩立スルコトヲ望マナイ場合ガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ次第デアリマス、結局多クノ場合ハ兩立サセルノデアリマス、ソレガ趣意デアリマス、クレドモ、事情ニ依ッテハ仲裁人ヲ選ブコトハ、當事者ノ意思ニ依ル場合モアリマセウシ、場合ニ依ッテハ裁判所ガ其方法以外ニ、適當ノ人ヲ選ブコトモ私ハ必要ト考ヘル、殊ニ能ク地主ナラズシテ、此借地關係ノ爭議ニ干與スル人ハ、或ハ辯護士ノ方デモ、或ハ其他ノ人デモ、必ズ地主借家人ガ集ッテ雙方カラ對立スルコトガナイ、サウ云フ場合ヲ應リマシテ、廣ク調停ノ任ニ當ラシムルト云フノガ、此案ノ趣旨デアリマス、御質問ニ大體此程度デ御答致シテ置キマス

○議長(奧繁三郎君) 御異議無シト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○野副重一君 身上ニ關スル件ニ付テ質問ヲシタイ
○議長(奧繁三郎君) 誰ニ質問スレ……
○野副重一君 鈴木富士彌君ニ對シテ——宜シウゴザイマスカ
○議長(奧繁三郎君) 野副君
〔野副重一君登壇〕
○野副重一君 鈴木富士彌君ハ一月二十四日ノ本會議ニ於ケル演說ニ於キマシテ、内務大臣ニ對スル第四點ノ質疑ト致シマシテ、斯ク述ベラレテアリマス、即チ内務大臣ハ阿片事件滿鐵事件ニ付テハ被告個人トシテ爲シタモノデ、政府政黨ニハ何等ノ關係ガ無イト云フコトヲ申サレタノデアルガ、而モ之ガ爲ニ幾々數萬言ヲ費サレタノデアルガ、阿片事件ノ金ガデス、與黨ニ屬スル東北選出ノ代議士某氏ノ手ニ依ッテ專ラ東北方面ノ選舉ノ費用ニ使ハレタト云フコトハ明カナル事實デアル、斯ク述ベラレテアルノデアリマス、ソコデ東北ヨリ選出ニナラデ居リマス、政友會所屬ノ代議士ハ、四十餘名ゴザイマス、是等ノ者ハ此演說ニ對シマシテ非常ニ迷惑ヲ感ジテ居ル、次第デアルノデアリマス(ノウ)——ト呼フ者アリ、仍テ鈴木君ニ對シマシテ三箇ノ質問ヲ提出致シマス、即チ鈴木君ガ東北選出ノ代議士某氏ノ手ニ依ッテ述ベラレマシタ其某氏トハ、何人ヲ指サレタノデアルカ、ソレカラ其阿片事件ノ金ヲ以テ東北方面ノ選舉ノ費用ニ使ハレタト云フコトデアルガ、ソレハ何程ノ金ヲ使ハレタト云フコトヲ言ハレルノデアルカ、是ガ第二ノ質問デアリマス(ソナナ事ハ分ラヌト呼フ者アリ)
○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ……
○野副重一君 (續)其阿片事件ノ金ヲ受取リタリト言ハレテ居ルノハ、何人ヲ指サレルノデアルカ、サウシテ鈴木君ハ如何ナル根據ヲ以テ斯ク斷言サレタノデアルカ、此點ヲ質問ヲシタイノデアリマス(拍手)
○鈴木富士彌君 議長
○議長(奧繁三郎君) 鈴木富士彌君
〔鈴木富士彌君登壇〕
○鈴木富士彌君 本員ノ演說カラ端ナク議場ニ混亂ヲ捲起シマシタコトヲ深く遺憾ニ存ジマス、只今野副重一氏ヨリ御質問ガアリマシタカラ御答ヲ致シマス、其前ニ一點一

寸確メテ置キタイト思ヒマスルノハ、野副サシノ只今御讀ミ
ニナリマシタ速記録、直グ引續キマシテ、又被告ノ一人梶
井盛ノ手ヲ通ジテ東北方面ノ與黨候補者某々ニ分配シタ
コトモ隠レナイ事實デアリマス、斯ウ云フ事ヲ申シテ居ルノ
デアリマスガ、此點ハ別ニ御質問ニナラナイト見テ差支ナイ
ノデアリマスガ、其點ヲ一寸——御返事ガナケレバ……

○議長(奥繁三郎君) 其點ハ保留シテ置イデ……
〔保留シナイト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ

○鈴木富士彌君 一寸御待チ下サイ……

○議長(奥繁三郎君) 三木君注意シマス、御默リナサイ

〔三木武吉君「君モ注意スルカラ默レ」ト呼フ〕

○議長(奥繁三郎君) 三木君發言ヲ禁止シマス

○鈴木富士彌君 一寸御靜ニ願ヒマス其點ハ然ラバ御質
問ノ無イモノト見テ茲ニ御答辯ヲ致シマス、本員ガ二十三
日ノ演說中ニ、東北方面ノ選舉ノ費用ニ使ハレタト申シマ
シタノハ、阿片ノ金ガ與黨候補者某々ニ分配サレタト云フ
意味デハナイノデアリマス、其無イ理由ハ同ジ演說ニ於テ
只今讀ミマシタ如ク、又被告ノ一人梶井盛ノ手ヲ通ジテ云
云「候補者某々ニ分配シタ云々」ト云フ其文句ト照シ合
セテ見マスルナラバ、選舉ノ費用ト候補者ニ分配サレタ金
トハ明ニ區別致シテ居ルコトハ、是デ明瞭デアラウト存ズル
ノデアリマス、然ルニ此梶井盛云々ノ一句ハ問題ニナツテ居
リマセヌカラ、私モ之ニ觸レルコトヲ避ケタイト思ヒマス、ド
ラカト申セバ、此後ノ文句ノ方ガドウモ重大ノヤウニ思フノ
デアリマスガ、殊更ニ此點ヲ避ケラレテ居リマスカラ、私モ此
點ヲ避ケルノデアリマスカラ、此點ヲ一言申シテ置キマス、選
舉ノ費用トハ代議士某氏ガ選舉ノ爲ニ使ツタ費用デアツテ、
或ハ大部分自分ノ費用ニ使ツタノデアリマセウ、又他人ノ
爲ニ使ツタモノモアルカ知レマセヌガ、其他人ガ若シソレヲ知
ラザルニ於テハ、何モ直接ニ關係ハ無イ譯デアリマス、ノミナ
ラズ、其他人ナル者ガ若シ落選致シテ居ル場合ニハ、特別ニ
此議院ニハ關係ハ無イコトニナルノデアリマス、斯様ナ次第
デアリマスカラシテ、決シテ東北方面ノ代議士諸君ヲ侮辱
シタモノデアリマセヌ、此問題ニ付キマシテハ憤慨サレタ
人ガ澤山ゴザイマス、其憤慨サレタ人ノ名前ヲ私ハ新聞紙
上ニ於テ拜見致シマシタ、注意シテ見マシタガ、是等ノ方々

ハ特ニ此問題ニハ關係ノ無イコトヲ言明シテ置キマス而シ
テ第一ニ東北代議士ハ誰カト云フ御質問デアリマシタガ、
野副氏カラ此質問ヲ受ケルコトハ私ハ甚ダ意外ニ思フノデ
ス、野副サシハ去ル二十四日ノ懲罰委員會ニ於テ、英國ノ
例ヲ引カレテ議員ノ名前ハ決シテ英國デ言ハナイト云フコ
トヲ申サレマシタ、ソレハ非常ニ良イ習慣デアルカラ、ソレハ
日本デモ斯クアリタイト云フコトヲ申サレマシタ、私ハ綱紀
肅正ノ演說トシテ、或ル程度マデ申サナケレバナリマセヌケレ
ドモ、ソレ以上進シテ人ノ名前ヲ一々舉ゲルコトハ特ニ私ハ
避ケテ居ルノデアリマスガ、殊ニ野副氏ノ御話モアリマスガ、
私ハ豫テ左様申上ゲテ、故ラニ避ケテ居ルノデアリマス、人ノ
名前ヲ言フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、〔言ハナイダラウ〕ト
呼フ者アリ、言ハマス、言フコトハ極メテ易イノデアルガ、言フ
必要モナク、是ハ多分皆様御承知ノ人ガ多イダラウト思
フ、若シ言ハナケレバナラヌ時代ガ來タナラバ私ハ單リ此事
件ノミニハ限ラナイ、其他私ノ手許ニ調ベ上ゲタ所ノ門司
港ノ問題ナリ、或ハ鹿町炭礦ノ問題ナリ、或ハ其他ノ各
種ノ問題ガアリマスカラ、此問題ヲ提ゲテ見ユル所デ見ユル
ノデアリマス、併ナガラ私ハ政爭ガ斯ク迄極端ニ走ルト云フ
コトヲ好マナイノデアル、ソレ故ニ私ハ此名前ハ類ニ言ヘト
申サレマスルガ、私ハ東北代議士何某ト云フコトハ此處デ
申上ゲル必要ハナイト信ジマス、是ダケヲ御答辯致シテ置キ
マス、ソレカラ何程ノ金ヲ受取リタルヤ、人ハ誰ゾヤト云フ御
質問デアリマスケレドモ、是ハ先程答辯致シマシタ如ク、此
金ヲ分配シタト申スノデアリマス、受取ツタ人ノ名
前ヲ言フベキ筋合ノモノデアリマス、此點ダケヲ私
ハ答辯致シテ置ク次第デアリマス、此議院ニ於テハ努テ選
ケテ名前ヲ言ハズニ居ルモノヲ、強テ言ヘト云フコトハドウ
云フ譯デアルカ、サウ云フ御方ハ能ク野副氏ノ英國議院ノ
觀察談ヲ御聽キナサツタラ、大變參考ニナルト思ヒマス、私ハ
是デ答辯ヲ止メマス〔拍手〕

○中西六三郎君 議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メマ
ス——只今鈴木君ノ御演說中ニ、議長ガ議場ノ靜肅ヲ維
持スルガ爲ニ、宣告ヲサレテ居リマス、其時三木武吉君ハ、其
議長ノ宣告ニ對シテ抗爭ヲ試ミタル言葉ノ末ニ、議長默レ
トマデ言ハレテ居ル、此議院ニ於テ總テ言論ヲ憤ムベキハ言
フ迄モナイガ、殊更議長ノ宣告ニ向テハ特殊ノ權威ヲ維
持スル爲ニ、議院規則ニ於テ議長ノ侮辱ニ當ルコトニ付テ

ハ、別段ニ嚴格ナル制裁ガアリマス、併ナガラ私ハ斯様ナル
言葉ヲ一々咎メテ問題ニスルト云フコトヲ好ム者デハナイ
ガ、議場ノ靜肅ヲ維持スルガ爲ニ、斯ル不謹慎ナル言語ハ
莫クハ三木君ニ於テ一應御取消ニナラゲ置ク方ガ然ルベキ
カト考ヘマス、唯幾イ言葉ガ何等議論ニカラ附ケルモノデハ
アリマセヌカラ、其當時ニ於テアナタノ氣分ハ何トアラウト
モ、此様ナイ言葉——失言ハ御取消アラント望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 諸君、議長ヨリ一寸一言致シマス、
中西君ノ只今ノ發言ハ、三木君ノ自省ニ依ツテ何等御考
ニナツタラドウデアラウト云フ警告デアリマス、是ハ三木君ノ
御考ニ一任スルコトニ致シマス、併シ議長トシテ改メテ宣言
シマス、先日ヨリ議長ヲ懲罰ニ附セトカ、議長發言ヲ許サヌ
トカ云フ不穩當ナル言葉ガアリマスケレドモ、先例ニ據リマ
スルト、議員諸君ガ自席ニ於テ議長ノ許可ヲ受ケズシテ發
言サル、場合ハ、是ハ發言ト認メヌト云フ先例ガアル、斯ウ
云フ先例モアリマス、アリマスルガ併シ議長ハ聞捨テハナ
リマセヌ故ニ、三木君ニ對シテ先刻發言ヲ禁止シマシタ、將
來ハ諸君ハ議員タル德義上、地位上、アノ如キ言葉ヲ能ク
慎マル、コトヲ絕對ニ望シテ置キマス〔拍手〕

○三木武吉君 議長

○議長(奥繁三郎君) 三木君何デスカ

○三木武吉君 アナタハ私ニ發言ヲ禁止シテ居ルガ發言
シテ宜イカ

○議長(奥繁三郎君) 何デスカ

○三木武吉君 發言シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(奥繁三郎君) 許シテ居リマセヌ

○三木武吉君 發言シテイケナイト云フナラバ、私ハ發言
ハ出來ナイガ……

○議長(奥繁三郎君) 出來マセヌ

○三木武吉君 アナタハ返事ヲシテ居ルカラ發言ヲ許シテ
居ルノデハナイカ

○議長(奥繁三郎君) 何デスカ——發言ヲ許シテ居リマ
セヌ

○三木武吉君 發言シテ宜シウゴザイマスネ、イケナイノデ
スカ

○野副重一君 議長

○議長(奥繁三郎君) 野副重一君

○野副重一君 尙ホ當席ヨリ鈴木君ニ對スル質問ヲシタ
イノデアリマス

「登壇々々」ト呼フ者アリ

「野副重一君登壇」

○野副重一君 只今鈴木君ハ本員ノ質問ニ對スル答辯ニ附帶致シマシテ、尙ホ次ノ項ヲ質問シナイカト云フ御催促ノヤウニ受取りマシタ、仍テ此場合尙ホ次ノ項ニ付テ質問ヲスルノデアリマス、鈴木君ノ演說中ニ「又被告ノ一人梶井盛ノ手ヲ通ジテ、東北方面ノ與黨候補者某々ニ分配シタコトモ隠レナイ事實デアリマス」斯ウ言フデアリマスガ、此點ニ付テ何人ヲ指サレタノデアリマスカ、辯明ヲ求メマス

〔鈴木富士彌君登壇〕

○鈴木富士彌君 只今野副氏ヨリ再ビ質問ガゴザイマシタ、此文句ハ阿片ニ關スル事案デアリマセヌ、大正九年ノ總選舉前ニ大連ニ起リマシタ事案ハ、獨リ阿片問題ニ限リマセヌ、數件起リマシタ、其中ニ某會社ノ土地拂下事件ナルモノガアリマシタ、梶井某ハ其中心人物ノ一人ニナッテ居リマス、其土地拂下ノ運動費トシテ數萬金ヲ會社カラ受取ツテ某高等官ノ名前ヲ以テ其金ヲ内地ニ送ツテ、其金ガ與黨某候補者ニ分配サレテ居ルノデアリマス、此事實ハ大連ニ御住ヒノ御方ハ能ク御存ジデアラウと思フ、其聽取書取調調査ハ阿片事件ト分離シテ別ニナッテ居リマス、起訴スルトモ、起訴シナイトモナク、マダ世ノ中公ニサレテ居ナイ事案デゴザイマス、其分配ヲ受ケタト云フ事案ヲ、本員ハ演說中ニ候補者某々ト稱シテ、代議士某々トハ申シテ居リマセヌ、之ガ私ノ非常ニ注意ヲ致シタ點デアリマス（拍手）即チ候補者某々ニハ落選シタ人モアリマス、或ハ大部分落選シタト申シテモ差支ナイカモ知レマセヌ、野添氏ハ其名ヲ言ヘト申スコトデアリマスガ、ソレハ先程私ガ申シタ如ク……（言ヘナカラウ）ト呼フ者アリ言ヘマス

○議長（奧繁三郎君） 靜ニ

○鈴木富士彌君（續） 言ヘマスケレドモ、先程申シタ如ク議院ニ於テハ一々名前ヲ云フベキモノデアリマス、ソレハ即チ英國ニ於テ其慣例アルコトヲ野添氏ガ痛切ニ述ベテ居ラレルノデアリマス、若シドウシテモ當ヘト仰シヤルコトデアレバ適當ノ時機ト場所ヲ以テ私ハ公表致シマス、私ハ是ダケノ事ヲ御答辯申上ゲテ置キマス（拍手）

〔熊谷才前モ貴ラカ貴ラッタ貴ラッタ言ッタ

宜イデヤナイカト「呼フ者アリ」

○議長（奧繁三郎君） 熊谷君何デスカ

○熊谷直太君 只今中野君ヨリ熊谷貴タカト云フ御言葉ガアリマシタ……

〔「分ラヌ」〕「登壇々々」ト呼フ者、其他發言スル者アリ

○議長（奧繁三郎君） 熊谷君ニ登壇ヲ命ジマス

〔熊谷直太君登壇〕

○熊谷直太君 只今議員中野君ヨリシテ熊谷貴タカ、ドウカ、貴タラ言ヘト云フ言葉ガアリマシタ、是ハ中野君ハ如何ナル所ノ意味ヲ以テ御言ヒニナッテデアリマスカ、只今鈴木君ノ御辯明ノ最中ニ於テ、此言ヲ發セラレルト云フコトハ、非常ナル侮辱ノ言ト考ヘマス、其辯明ニ依リマシテハ本員ハ承知ガ出來マセヌ

〔中野辯明シロ「ト呼フ者アリ」〕

○議長（奧繁三郎君） 熊谷君ニ御尋致シマスガ、議員中野君ト云フノハ中野寅吉君デスカ

○熊谷直太君 サウデス

○議長（奧繁三郎君） 中野君辯明ニナリマスカ

〔辯明シロ「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（奧繁三郎君） 中野寅吉君發言スルノデスカ、シナイノデスカ、何レデスカ

〔中野寅吉君登壇〕

○中野寅吉君 ソレデハ私ハ極ク簡單明瞭ニ今ノ熊谷君ノ質問ニ御答致シマス、只今鈴木富士彌君ノ演說ニ對シマシテ、熊谷君ハ頻ニ一生懸命ニナッテ居ラレハ、ソレデ私ハ餘リヤカマシイカラ、熊谷ソレデハ貴タノカイト、斯ウ言ツタ、能ク其處ヲ——貴タノカイト、言葉ノ終ヒニ「カイ」ト言ツタ、貴ハナケレバ貴ハナイデソレハ宜イデヤナイカ

○議長（奧繁三郎君） 東君——東君議事ノ進行ニ付テデスカ

○東君 議事ノ進行ニ付テミス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（奧繁三郎君） 東君——東君ニ許シマシタ

〔東武君登壇〕

○東武君 私ハ先日來鈴木富士彌君ノ演說ニ付キマシテ、甚ダ不快ノ感ヲ懷イテ居ル一人デアリマス、私ハ十數年此議席ニ列シテ居リマスガ、此議席ニ於キマシテ、今回ノ如キ醜惡ナル議會ニ列シタコトハナイ（「拍手」ヒヤヒヤ）「サウ」ト呼フ者アリ諸君ガ所謂滿鐵問題、若クハ綱紀肅正

問題ヲ叫ブコトハ吾々モ同感デアリマス若シ判明ナルコトデアラナラバ、苟モ此壇上ニ於テ諸君ガ論議スル以上ハ、責任ヲ以テ悉ク之ヲ明カニスルガ宜イ（ヒヤ）「悉ク明カニスルガ宜イ、我黨ノ二百八十四人アル中ニ、若シ犯罪ニ係ッテ居ル者ガアルカモ知レマセヌ、若シ不正ノ事ヲスル者ガアルカモ知レマセヌ、アルナラバ其人ガ罪責ヲ負フガ宜イ、當然其責任ヲ負フガ宜イ、ソレヲ諸君ガ明カニシテ初テ議院ノ神聖ガ保タレルノデアリマス、諸君ノ如キ何カアルデアラウ、泥棒ヲシタ者ガアルサウダト云フヤウナコトデ、徒ニ世間ニ疑惑ヲ生ゼシムルト云フコトハ、吾々ハ斷ジテ之ヲ承知スルコトガ出來ヌデアリマス（ヒヤ）「拍手」若シ諸君ガ其點ニ就テ綱紀肅正ヲ論ズルナラバ、吾々ハ決シテ諸君ノ人後ニ落テナイ者デアリマス、又只今野添君ノ質問ニ對シテ、鈴木富士彌君ノ答辯ニ於キマシテ、人ヲ指サスト云フコトガアリマス、サウ云フ人ガアルカモ知レナイガ、人ヲ指サスト云フコトデアリマス、併シ是デハ鈴木君ガ責任ヲ以テ此壇上ニ立ッテ、苟モ帝國ノ議政壇上ニ立ッテ、之ガ天下公衆ニ傳ハルコトデアリマスカラ、此責任ヲ明カニスルコトハ鈴木君ノ責任デアリマセヌカ、若モ東北ノ代議士ガ阿片ノ金ヲ受取ツタ、基金ヲ何人ニ渡シタト云フコトヲ明カニシナケレバ、吾々ノ責任ト疑惑ハ解ケルコトハ出來ナイデアリマセヌカ、東北ノ代議士、四十幾名ノ代議士ハ悉ク汚名ヲ著テ居ルノデアリマセヌカ、諸君ハ之ヲ如何ニ感ジテ居リマスカ、斯様ナ事ヲ默過スルコトガ出來マスカ、鈴木君茲ニ明ニ明示シ給ヘ、若シ何人ガ取ツテ何人ニ仕拂タノデアルカ、東北ノ代議士ハ其事ニ關係ガナイ、其候補者ガ落選シタラ、四十三人ノ代議士ニ對シテ何等疑惑ハナイト云フ事ナラバ、其事ヲ明ニ斷言シテ下サイ、決シテ諸君ヲ追窮スルモデアリマセヌ、若シ其事ガ無イナラバ無イト言ッテ下サイ、又某々會社ヨリ金ヲ受取ツタ者ガアルト云フコトヲ、只今何カ事アレカシデ言ッテ居ル、若シ有ルナラバ其事實ヲ明白ニシ給ヘ、中野寅吉君ガ熊谷直太君ニ「御前ハ取ツタコトガアルカイ」ト云フ此様ナ無禮ナ言ガ何處ニアルカ、熊谷君ノ身上トシテ此上モナイ迷惑ナコトデアリマス、苟モ議員ノ一身上ニ對シテ諸君ガサウ云フコトヲシテ、我事足レリト徒ニ天下ノ人心ヲ動搖サセルト云フ事ハ、餘リニ卑怯未練デアルト思フ、若シ熊谷君ニ對シテ何カ疑惑ガアルナラバ、熊谷君ハ堂々トシテ此壇上ニ於テ自分ノ身邊ヲ明ニスル必要ガアラ

ウト思ヒマス、併ナガラ名ヲ言ハス、徒三人ニ疑惑ヲ被ラシムルト云フコトハ、暗夜二人ヲ暗殺スル同様ナル、サウ云フ卑劣ナ事ヲスルト云フコトハ、決シテ武士道ノ上ニ於テ許スベカラザルコトナル(拍手)此意味ニ於キマシテ鈴木君ニモウ一度明白ニ御願ヒ致シマス、畢竟四十三人中、東代議士方有ルカ無イカト云フコトヲ御聴キ致シマス(質問タイム)ト呼フ者アリ、議事ノ進行ト同時ニ鈴木君ニ質問致ス

○議長(奥繁三郎君) 湯淺凡平君

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 本員ハ此機會ニ於キマシテ、茲ニ發言ヲ求メタ事ヲ甚ダ遺憾トスルモ、デアリマス、只今鈴木君ノ先日議會ニ於テ發言サレタルコトニ付テ問題ガ起テ居ルノデアリマス、私ハ心筋ニ斯ノ如キ問題ニ對シテハ、鈴木君ガ只今述べラレタル程度ニ於テ止メルコトヲ切ニ希望致シテ置イタ(ノウ)ト呼フ者アリ、假令斯ノ如キ事ガ事實デ有ル無シニ拘ラズ、神聖ナル議場ニ於テ之ヲ公言スルト云フコトハ、議會ノ體面ノ上カラ甚ダ悲シムベキコトデアリマス(拍手)而シテ既ニ御答辯ニナラザル以上ハ、此問題ハ假ニ懲罰ノ價值アリト致シマシテモ、既ニ時效ニ依テ消滅シテ居ルモノデアルカラ問題ニハナラナイ、併ナガラ私ハソレハ措イテ茲ニ發言ヲ求メマシタル所以ハ、只今東君ノ御發言中ニ「醜穢ナル議會」云々ノ言葉ガアリマシタ、一體トノ議會ヲ指シテ醜穢ト言ハル、ノデアルカ(拍手)此醜穢ナル語ハ一面ニ於テハ帝國議會ノ神聖ヲ傷ケタル語デアルト思フ(ヒヤ)ト呼ヒ、拍手起ル)昨午鐵道敷設法ノ改正ニ當リマシテ、本員ガ圖ラズモ「卑ムベキ惡政黨」ナル語ヲ討論ノ中ニ用井タ時ニ、是ハ議院ノ内面デアリマセヌ、議場ノ外ニ於ケル問題ヲ本員ガ論ジタコトニ付テサヘモ、而シテ是ハ極テ抽象的ノ語デアルニ拘ラズ、議長ハ特ニ免ニモ角ニモ如何ナル場合ニ於テモ、議場ニ於テ左様ナル語ヲ用井ルト云フコトハ宜シクアルマイト云フ御注意ガアリマシテ、本員ハ之ヲ諒シテ御請フ致シテ居ル、然ルニ只今ノ如キ醜惡ナル議會ト云フガ如キ、此會議全體ヲ侮辱シ、自ら輕ンズル、而シテ議會ノ神聖ヲ傷ケルガ如キ語ヲ御用井ニナルコトハ(拍手)甚ダ遺憾千萬ナ事ノ思ヒマス(同感)ト呼フ者アリ、故ニ東君御自身ニ於テ茲ニ御取消ガアルナラバ格別、若シ然ラザレバ議長ニ於テ速ニ是ガ取消ヲ命ズルガ相當ノ事デ

アルト私ハ信ジマス、一言致シマス(拍手)

〔取消セ〕醜穢ハドウチニアルカト呼フ者アリ

○東武君 只今ノ言葉ノ中ニ字句ニ於キマシテ適當ナラザル言葉ガアタ様デアリマスガ、ソレハ取消シテ置キマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 諸君ニ御諮リシテ置キマス、先日野副君ヨリ議員鈴木富士彌君ニ對シテ懲罰ノ動議ヲ提出サレテ居リマス、當日鈴木君ハ缺席デゴザイマシタ故ニ、趣旨辯明ヲ許シマセヌ、本日ハ鈴木君モ出席ニナラデ居リマス、出席ニナラデ居リマスガ、本日ハ此懲罰事犯ハ別段二日程ヲ變更セヌデモ直ニ議題ニ出テ居ルノデアリマスガ、本日ハソレヲ延ベマシテ次ノ本會議ノ日ニ議ルコトニ致シマス……

議員鈴木富士彌君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議(撤回)
〔ドウ云フ譯デス〕斯ウ云フ事ハ早ク極マリヲ付ケタ方ガ宜イト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) ソレデスカラ、御諮リシテ居ルノデス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナレバ議長ニ於テサウ云フ日程ニ定メマス、續イテ日程第七乃至第十八、同種ノ議案デアリマスカラ一括シテ議題ニ……

○小山松壽君 議長、議長
○議長(奥繁三郎君) 小山君何デスカ
○小山松壽君 議事ノ進行ニ付テ一言致シテ置キマス、當席ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 宜シウゴザイマス
○小山松壽君 只今鈴木富士彌君ノ懲罰事犯ノ動議ニ對シテ、野副君ヨリ先日提出サレタル其動議ハ、本日ハ都合ヲ以テ次會ニ延期スル、斯ウ云フ御宣告ガアタ様ニ承ル、議場騷然トシテ議長ノ御宣告ヲ明瞭ニ聽取ルコトガ出來マセヌデアリマシタガ、若シ果シテ議長ノ御宣告通りデアルト致シマスレバ、荷モ事ハ議員ノ身上ニ關スル重大ナル問題デアリマス、此重大ナル問題ニ付キマシテ、既ニ懲罰事犯トシテ動議ヲ提出サレテ居リマスル以上ハ、此動議ニ對シテ院議ニ問ウテ速ニ之ヲ解決シナケレバナラヌ事ト存ジマス、殊ニ議長ハ先日懲罰事犯ニ對シテ、御宣告ニモ仰

セラレタル如ク、懲罰事犯ハ討論ヲ用井ズシテ直ニ之ヲ議ニ付スト云フコトノ御宣告ガアリマシタカラ、旁々只今ノ議長ノ御宣告ハ如何ナル理由ニ依テ御延ベニナルノデアリマス、少シク其趣意ヲ受取り難イト存ジマスカラ、更メテ質問ヲ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 格別理由ガアル譯デハナイ、故ニ諸君ニ諮ラントデス

○小山松壽君 向ホ只今ノ御答辯ニ付テ伺ヒマス、格別意味ガアル譯デナイ、唯議場ニ諮ラントデアルト斯ウ仰セニナリマスガ、私ハ議場ニ於テ御諮リニナラト認メマセヌ、若シ御諮リニナラタ事デアルトスレバ、ソレハ徹底シテ居リマセヌ(其通り)ト呼フ者アリ、故ニ何ガ故ニ御延ベニナルデカ、格別意味ガナイト云フ事デアレバ、繰返シテ申上デマス通り、懲罰事犯ハ其本人ノ人ノ身上ニ關スル事デアリ、殊ニ規則ニ於テモ懲罰事犯アリト認メタル時ニ於キマシテ、直ニ其動議ハ議長ニ於テ御決定ニナルコトニ規則モ定メテアリマス、モウ少シ其意味ヲ明瞭ニ御答アラント請ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 中西君何デスカ

○中西六三郎君 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス——誠ニ實益ノ少イコトニ度々時間ヲ費スノハ好マナイデアリマス、サリナガラ此儘ニ拾置ケナイ事ガアリマスカラ、一言申シテ置キタイ、只今中野寅吉君ガ熊谷君ノ質問ニ對シテ答ヘラレマシタ其趣旨ハ、「貴タノカイト云フ「カイ」ナドト云フコトヲ言ハレテ居ル、サウ云フ言葉ガ何故ニ此議場ニ於テ妥當デナイカト云フコトヲ私ガ説明スル程、ソレ程此議場ガ墮落シテ居ラヌト考ヘマスルガ故ニ——願クバ斯ノ如キ不當ナル不適當ナル言葉ハ、中野君ガ綺麗ニ御取消ニナラデ下サル方ガ宜シイト考ヘマス、其意味ニ於テ私ハ中野君ニ、アノ言葉ハ全部御取消下サルコトヲ希望致シマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ
○中野寅吉君 議長
○議長(奥繁三郎君) 中野君、發言ヲ求ムルノデスカ
○中野寅吉君 ハイ發言ヲ求メマス
〔中野寅吉君登壇〕

○中野寅吉君 私ハ性來逆上性デアリマシテ、餘リ鈴木君ノ演說中ニ熊谷君モ私ト同様東北辯ヲ振廻シテ彌次ッテ居リマシタカラ、ア、言ヒマシタガ、誠ニ中西サンガ仰シヤ

ル通り、是ハ多少穩當ヲ缺キマスカラ、潔ク是ハ取消シマス

〔拍手、笑聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 向ホ一言致シマス、此鈴木君ニ對スル懲罰事犯ノ動議ハ、實ハ本日延バシテ次ノ本會議ニ付シタイト思フ諸君ニ諮リマシタガ、或ハ諸君ニ十二分ニ徹底シテ居ラヌカモ分リマセヌ、故ニ更メテ茲ニ念ノ爲ニ御諮リ致シマス、懲罰事犯ノ事アルカラ、本日趣旨ヲ聽キタイト云フ小山君ノ御意見モアリマシタガ、如何デセウ、直ニ此動議ヲ議題ニ致シタラ如何デセウ

〔ヤルベシ〕「延バスベシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナクバサウ計ヒマスガ……

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナイト認メマス、野副君
○野副重一君 私ハ提出者トシテ此趣旨ヲ述ベタイノデアリマスガ、先刻來鈴木君ノ御説明ヲ承テ居リマシタラ、大ニ諒解スル所モゴザイマシタ、向ホ考慮ヲ致シタイノデアリマスルカラシテ、滿場ニ於テ此動議ハ次回ニ廻サレンコトヲ望ミマス

〔撤回シ給ヘ〕議長々々「ト呼ヒ發言スル者多シ」

○議長(奥繁三郎君) 靜ニナサイ——野副君外提出者諸君ニ一言致シマス、此懲罰事犯ハ元來違反ガアタ當日ヨリ三日間ヲ經過スルナラバ、懲罰ノ動議ハ提出スルコトノ出來ナイ規則ニナッテ居リマス、此次ノ本會議ハ來ル四日ニナリマス、ソレデ考慮致ス、再考致スト云ウテ之ヲ保留スルコトハ、穩當ヲ缺クヤウニ思ヒマス、故ニ是ハ諸君ガ直ニ御議シナサルナラバ、次回ニ延バサズ本日ナサルコトヲ望ミマス

〔議長公平〕「撤回々々」ト呼フ者アリ

○野副重一君 ソレデハ此動議ニ對シマシテ意見ヲ述ベマス、ソレハ先刻來——〔登壇々々〕ト呼フ者アリ

〔野副重一君登壇〕

○野副重一君 私ハ議員鈴木富士彌君ニ對シマシテ懲罰ノ動議ヲ提出シタル一人デゴザイマシタガ、此動議ヲ維持スルコトニ付キマシテハ鈴木君ノ御辯明ヲ聽ク必要アリト感ジマシテ、幸ニ今日鈴木君ノ辯明ヲ聽クコトヲ得タノデアリマス、辯明セラル、所ニ依リマスレバ、阿片事件ニ金ヲ賞シテ當選シテ居ル東北議員ハ無イニ云フ趣旨ニ承ツタノデアリマス、サウ致シマスレバ鈴木君ノ述ベラレタル趣旨モ

自ラ諒解スルコトガ出來タノデアリマスルカラシテ、此場合潔ク鈴木富士彌君ニ對スル懲罰ノ動議ヲ撤回致シタク思ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——只今ノ野副君ノ陳述ハ撤回ノ陳述ト認メマス、此撤回ハ御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 然ラバ撤回ニ決シマシタ、日程第七乃至第十治安警察法中改正法律案ヲ一括議題ニ供シマス

第七 治安警察法中改正法律案(清瀬一郎君外一名提出)

第一讀會

治安警察法中左ノ通改正ス

第二條 政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ヲ開カムトスル者ハ發起人ヲ定メ會場所在地ノ管轄警察官署ニ届出ツヘシ

第四條中「十二時間」ヲ「六時間」ニ改ム

第五條第一項中第三號乃至第五號ヲ削リ第六號ヲ左ノ如ク改メ第七號ヲ第四號ニ改ム

三 十四歳ニ滿タサル者

同條第二項中「女子及未成年者」ヲ「十四歳ニ滿タサル者」ニ改ム

第八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

屋外ノ集會又ハ多衆ノ運動若ハ群集ニシテ安寧秩序ヲ紊シタル場合ニ於テハ警察官ハ集會若ハ群集ヲ解散シ又ハ運動ヲ制限スルコトヲ得

同條第二項中「此ノ場合ニ於テ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」ヲ削ル

第十條中「違背シ其ノ他安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムル」ヲ「違背シタル」ニ改ム

第十七條 削除

第二十條 第二條ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條第一項中「若ハ禁止」ヲ削ル

第二十三條 第二十四條、第二十六條、第二十七條、第二十八條及第二十九條中「輕禁錮」ヲ「禁錮」ニ改ム

第三十條 削除
第三十一條中「重禁錮」ヲ「禁錮」ニ改ム
第三十二條ノ一 本法ニ依リ行政官廳ノ命令若ハ處分ニ對シテハ直ニ訴願ヲ爲シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八 治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提出)

第一讀會

治安警察法中改正法律案

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項中「女子及」ヲ削ル

第九 治安警察法中改正法律案(横山金太郎君外三名提出)

第一讀會

治安警察法中改正法律案

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項中「女子及」ヲ削ル

第十七條第一項中「シ又ハ第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動」ヲ削ル

第十 治安警察法中改正法律案(松本君平君外一名提出)

第一讀會

治安警察法中改正法律案

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第一項中第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號ニ第七號ヲ第六號ニ改ム

同條第二項中「女子及」ヲ削ル

○議長(奥繁三郎君) 提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——砂田重政君

〔砂田重政君登壇〕

○砂田重政君 唯今議題ニ供セラレマシタル治安警察法改正提案ノ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、御承知ノ如ク治安警察法ハ明治三十三年ニ發布セラレタル法律デアリマスルガ、其改正ノ動機ハ集會政社法ニ根柢ヲ置イテアルノデアリマス、更ニ其以前ノ明治十三年ノ集會條例ニ根柢ヲ起シテ居ルノデアリマス、其内容ハ吾々ガ茲ニ申上グル迄モナク極テ現代ノ政治組織、政治的ノ觀念ニ於テ非常ナル

懸隔ヲ生ジテ居ルノデアリマス、其中ニ於テ最も極端ニ現代ノ政治觀念ニ反シテ居リマスル點ノ改正ヲ致シタイト云フ趣旨ニ基キテ、此案ヲ提出シタノデアリマス、茲ニ極端簡單ニ其内容ヲ申上デマスルガ、吾々ノ改正ヲ致シタイト云フ根本ノ趣旨ハ、三ツノ原因ニ起リテ發シテ居ルノデアリマス其一ツハ現代政治思想ニ同化一致セシメルト云フ趣旨ガ一ツ、更ニ此治安警察法ノ改正ニ依テ政治的智識ノ普及ヲ圖リタイト云フノ第二デアリマス、其結果更ニ第三トシテハ政治的結社ノ沈滞セル空氣ヲ一新致シタイト云フコトニアリマス、申ス迄モナク今日ノ政治組織ハ言論ノ時代デアリ、而シテ又輿論ノ政治ガ行ハレナクバナラスノデアリマス、極テ少數ナル特權階級ノミニ政治的地位ヲ與ヘ、政治的ノ權能ヲ與ヘル時代ハ過去トデアリマス、輿論ノ政治ヲ行ヒ、國民多數ノ政治ヲ行ハウト云フコトノ上ニ於テハ、從來ノ治安警察法ニ依テ制限サレマシタル、第一ニ集會結社ノ自由ヲ擴張シナクバナラスノデアリマス、即チ治安警察法ノ第五條ニ改正ヲ加ヘタ所以デアリマス、治安警察法ノ五條ニ於テハ神官、神職、僧侶、其他諸宗ノ教師、官公私立學校ノ教員、學生、生徒、未成年者、女子、是等ノ者ニ對シテハ全然集會結社ノ自由ヲ束縛サレテ居ルデアリマス、又同條ノ第二項ニ於テ政談集會ノ席上ニ女子及未成年者ノ出入ヲ禁ゼラレテ居ルデアリマス、吾々ハ先ヅ第一ニ是ガ解決ヲ圖リタイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク此治安警察法ノ五條ハ、今日ノ吾々ノ主張カラ考ヘマスルナレバ、一種ノ虛偽ヲ強ユル法律ト考ヘルノデアリマス、申ス迄モナク政治——日本ノ國家ノ政治ノ根柢ノ教育、宗教ノカト相俟テ初テ改善ヲ圖リ發達ヲ圖ルコトガ出來ルノデアリマス（拍手）然ルニ此宗教家、教育家ヲ政治的團結ノ中ニ加盟スルコトヲ禁ズルト云フコトハ、一面ニ於キマシテハ日本ノ中堅トナリ、日本ノ政治ノ根柢ヲ築上グルベキ最も先覺者デアリ、知識階級アル人々ヲ除外スルト云フ結果ニナルデアリマス（拍手）吾々ハ先ヅ第一ニ此教育家、宗教家は等ノ人ニ集會ノ自由ヲ認メナクバナラスト思フ、又今日ノ時代ニ於キマシテハ、學校ノ生徒、或ハ學生、學校ノ職員、是等ノ人ハ最も日本ノ政治ニ對シテ熱心ニ研究ヲ爲シ、熱心ニ其主張ヲ表明シ、而モ其主張ハ最も自由ナル立場ニ於テ、又最も公平ナル理想ノ上ニ於テ立論スルコトノ出來ル立場ニ居ル人トデアリマ

ス、斯様ナ人ミヲ此政治結社ヨリ除外スルト云フコトモ、謂ハレナキ事實デアラウト私ハ考ヘマスルガ故ニ、先ヅ是ガ改正ヲ圖リタイト思フノデアリマス（拍手）而シテ從來ノ第五條ノ中ニハ、女子ト未成年者モ共ニ禁ゼラレテ居リマスルガ未成年者ト雖モ相當ノ年齢ニ達シテ政治ノ何物タルコトヲ解シ、政治ヲ理解スル能力アル以上ハ、總テ政治結社、若クハ政談集會ノ席ニ出入スルコトガ出來ルヤウニシタイト云フ意味ニ於テ、十四歳以上ノ未成年者ト雖モ全部結社ノ自由ヲ許シ、且ツ政談集會ニ立入ルコトヲ許シタイト云フ意味ニ於テ、此改正案ヲ出シタノデアリマス、其次ニ女子ニ付テモ同様デアリマス、此問題ハ單ニ女子ノ政談集會若クハ結社ノ自由ト云フ問題ノミニ付テ、他ノ憲政會或ハ無所屬及政友會ノ諸君ヨリ提案ヲサレテ居リマスルカラ、詳細ナル御説明ノアルコト、思ヒマスルガ、吾々ガ此女子ノ解放ヲ主張致シマスルコトハ、現在ノ女子ガ總テ非常ナル知識ヲ持ツニ至リ、非常ナル政治的理解ヲ持テ居ルガ故ニ許サウト云フノデアリマス、私共ノ信ズル程度ニ於テハ、今日ノ女子ハ男子同様ニ普通ノ義務教育ヲ受ケ、又高等ノ教育ヲ受ケル總テノ機關ガ出來マシテ、今日ニ於テハ女子ト男子ノ間ニ何等ノ差別ガナイト信ズルノデアリマス、是ガ即チ吾々ノ提案ノ理由デアリ、唯女子ニ非常ニエライ人間ガ出來タカラ之ヲ解放シヤウト云フ意味トハ少シ違フ、現在日本ノ女子教育家トシテ最も尊重サレテ居ル或ル一人ニシテ、議會ノ言論ニ對シテ暴行ヲ加ヘタル者ヲ肯定スルヤウナ女子モ今日アルノデアリマス（拍手）此一事ヲ以テ見マシテモ、今日ノ女子ガ必シモ政治的ニ覺醒シテ居ルトハ言ハレマセズ、併ナガラ此議員ノ言動ニ對シテ暴力ヲ用ル者ヲ肯定スル男子スラ此處ニアルノデアリマス（拍手）此事ヲ思ヘバ女子ト男子ノ間ニ何等ノ差別ノナイト云フコトヲ私ハ認メ得ラレト思フノデアリマス（拍手）併ナガラ既ニ普通ノ教育ヲ受ケ、高等ノ教育ヲ與ヘルベキ一切ノ機關ノ出來テ居リマスル今日ニ於テハ、總テ男女ノ間ニ何等ノ差別ヲ設クルコトナクシテ、此政治的結社、政治的談論ノ場所ニ出入スルコトヲ許シテ、政治的知識ノ普及ヲ圖ルト云フコトハ、今日ノ急務デアラウト考ヘルノデアリマス（拍手）即チ此意味ヨリ考ヘマスルナラバ、吾々ハ今日ニ於テ男女ノ其間ニ何等ノ區別ヲ設クル必要ガナイ、而モ多數ノ女子ノ中ニハ、又政治ヲ解スル人ガ男子同様ニアル、又教育

家ニシテモ、宗教家ニシテモ、總テ政治ニ對シテハ相當ノ知識ヲ持チ、相當ノ理解ヲ持チ、相當ノ主張ヲ持テ居ルノデアリマス、然ルニ此主張ヲ持チ、相當ノ主張ヲ持テ居ルノデアリマス、或ハ結社ノ上ニ於テ、或ハ政談集會ニ出入ヲ禁ゼ、或ハ結社ニ立入ルコトヲ許サナイト云フ法律ヲ設クルコトハ、其人ニ對シテ形式上ノ結社ヲ禁止スルニ止テ、其人ノ志ヲ奪フコトハ出來ナイノデアリマス（拍手）即チ是ガ吾々ガ本第五條ノ從來ノ規定ハ、徒ラニ虛偽ヲ強ユルモノデアルト云フコトヲ主張スル所以デアリマス、即チ此意味ニ於テ五條ノ改正ヲ致シ、更ニ第八條及十條ノ改正ヲ提案ヲシテ居ルノデアリマス、此八條、十條ノ提案ノ理由ハ警察官ノ認定ニ依テ、或ハ集會ノ解散ヲ命ゼラレ、或ハ言論ニ對スル禁止ノ特權ヲ與ヘラレテ居ル、此規定ヲ改正致シタイト思フノデアリマス、要スルニ言論ノ自由ヲ尊重致シタイト云フコト、共ニ他ノ一面ニ於キマシテハ、低級ナル警察官ノ壓迫ニ依リ、干涉ニ依リマシテ、政治的言論ニ危害ヲ加ヘ、或ハ發言ニ對スル壓迫ヲ加フルコトヲ除外致シタイト思フノデアリマス、此事ハ今日マデ屢、論議セラレ、屢、主張サレタ問題デアリマス、是ト同時ニ此規定ノ改正ハ、他ノ一面ニ於テハ、政治上ニ於ケル集團或ハ屋外ニ於ケル集會等ノ場合ノ、今日マデ幾度カ生ジマシタ紛亂混亂ヲ防止スル一ツノ方法デアラウト考ヘルノデアリマス、御承知ノ如ク今日マデ此治安警察法ニ依テ結社ニ壓迫ヲ加ヘ、集會ニ壓迫ヲ加ヘル結果、屢、警察官トノ間ニ衝突ヲ生ジ、屢、之ガ爲ニ紛亂混亂ノ狀態ニ陥ツタ例ガアルノデアリマス、吾々ノ知ル範圍ニ於キマシテモ、現ニ最近ノ昨年七月神戶ニ於ケル勞働爭議ノ當時ノ如キモ、當初勞働者ニ自由ニ屋外ニ於ケル集會ヲ許シ、屋外ニ於ケル示威運動ヲ許シテ居リマスル間ハ、何等ノ衝突モ起ラナクタノデアリマス、然ルニ此治安警察法ヲ適用シテ、七月ノ十日ノ日ニ愈、絕對ニ屋外運動ヲ禁止致シマシタル後ニ於テ、遂ニ彼ノ巡查ト勞働者ノ衝突ヲ生ズルニ至ツタ事實ニ依テ見マシテモ、最も秩序アリ——秩序ヲ維持スル爲ニ努力スルコトニ依テ、幾多ノ危險ヲ防止スルコトハ出來マスルガ、警察官ノ力ニ依テ無理ニ之ニ解散ヲ命ジ、或ハ之ヲ絕對ニ禁止スルコトハ、却テ動亂ヲ生ジ、或ハ之ガ爲ニ幾多ノ衝突ヲ來シテ、治安ヲ妨害スルコトガアルノデアリマス、故ニ寧ろ警察官ノ斯様ニ認定權ノ全部ヲ解キ去テシマテ、而シテ萬一治安ニ危險ヲ生ジ、

其結果安寧秩序ヲ紊シタル場合ニ於テハ、直ニ解散ヲ命ジ或ハ發言ヲ禁止スルコトノ出來ルト云フ明文ヲ存置スルニ限ルト考ヘマシテ、本案ノ改正ヲ致シタリト思フノデアリマス、最後ニ治安警察法ノ第十七條ト第三十條ヲ削除致シタリト云フ考ヲ持テ居リマス、御承知ノ如ク治安警察法ノ第十七條ハ僱主ノ結合ニ依ル労働者ノ壓迫ト、労働者ノ結合ニ依ル僱主ノ壓迫ト二ツノ場合ヲ記載サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ僱主ノ結合ニ依ラザル労働者ニ壓迫ヲ加ヘルト云フ此明文ハ、此法律ヲ存置サレテ以來今日マデ一タビモ活用サレタコトノナイ殆ド空文デアリマス、唯殘ル問題ハ労働者ノ結合ニ對スル誘惑、煽動、是等ノモノニ對シテ此規定ガ屢々適用サレタノデアリマス、而シテ此十七條ノ中ニハ、暴行脅迫若クハ公然ノ誹毀ト云フモノガ記載サレテ居ル、併ナガラ此暴行脅迫若クハ公然ノ誹毀ニ關シテハ、既ニ今日新刑法ニ依リマシテ、是等ニ對スル刑罰ハ定メラレテ居ルノデアリマス、隨テ暴行脅迫若クハ公然ノ誹毀ニ付テ、殆ド此治安警察法ノ十七條ノ適用サレタコトハナシ、此點ニ於テモ亦此規定ハ既ニ死物デアリマス、殘ル問題ハ誘惑、煽動ノ二ツデアリマス、今日ニ於テハ歐洲戰亂ノ結果開カレマシタル講和會議ノ席上ニ於テ、日本ノ大使ハ其條約中ニ現ニ労働者ノ結合ト云フコトヲ確認ヲ致シテ居リマス、又亞米利加ニ於テタル労働會議ニモ、此問題ニ付テハ既ニ労働者ノ結合ヲ認メラレテ居ルノデアリマス、加之此労働者ノ結合ハ法律ニハ今日出來テ居リマセヌガ、現政府ニ於テモ既ニ此事實ハ公然ニ認メラレテ居ル、此結合ガ認メラレル以上ハ此結合ニ加シテ、而シテ此結合シタル團體ニ依テ主張スベキ労働者ノ權利ヲ剝奪スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、既ニ其結合ヲ認メ、其主張スル方法ヲ認メル以上ハ、特ニ此治安警察法ノ十七條ヲ存置スル必要ハ全然無クナリテシマテ居ルノデアリマス、吾々ハ單ニ誘惑、煽動ト云フ言葉ヲ削ラウト云フダケハナシ、更ニ進シテ既ニ死物ニ屬シテ居ル十七條ノ全體ヲ削リ取ルノガ、今日ノ現代ノ政治界ニ處スル當然ノ事デアラウト考ヘルノデアリマス、此規定ヲ削除致シマスル限リハ、更ニ之ニ對スル刑罰トシテ定メラレタル第三十條ヲ削ルト云フコトハ無論ノ事デアリマス、モウ一ツ此三十二條ノ二ト云フノ今度新ニ吾々ノ方ハ設ケルノデアリマス、是ハ從來ノ規定ニ依リマスルト、政治的結社ニ對スル解散ヲ命ジタル場合ニ限リテ、行政訴願或

ハ行政裁判ヲ出訴スルコトノ規定ガアタノデアリマス、吾々ハ此治安警察法ニ定メタル總テノ行政處分ニ對シテハ、救済ノ方法トシテ訴願若クハ行政裁判ヲ許スト云フコトニスルコトヲ穩當ト信ジマシテ、三十二條ノ第二項更メテ追加致シタ次第デアリマス、以上ノ如ク吾々ハ其目的ニ於テ、極メテ今日ノ政治思潮ニ同化シ、政治思潮ニ相一致セシメタリト云フ考ノ下ニ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、カラ、慎重御審議下サイマシテ、本案ノ可決セラレンコトヲ切望致ス次第デアリマス（拍手）

○佐々木安五郎君 議長

○議長（與繁三郎君） 佐々木安五郎君何デスカ

○佐々木安五郎君 議場ノ整理ニ付テ一言シマス、只今見渡ス所定數ニ充タヌヤウニ思ヒマス、一個人ノ懲罰問題ニ付テハ血眼ニナル政友會ガ、一國ノ大問題デアル治安警察法ニ斯クノ如ク大多數空席ヲ出スト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、若シ定數ニ充タザル以上ハ、議長ハ相當定數ニ充テル方法ヲ御執リニナルカ、但シ直ニ散會ヲ命ゼラレルカ議場ノ整理ヲ要求シマス

〔政友會ダケヂヤナイ〕「二十二名シカ無イヂヤナイカ」ト呼フ者アリ

○議長（與繁三郎君） 靜ニナサイ——今人數ヲ點呼致シ尙ホ相當ノ方法ヲ執リマス、定數ノアルモノト認メテ進行致シマス——一宮房治郎君

〔一宮房治郎君登壇〕

○一宮房治郎君 私人提案致シタル案ハ、治安警察法ノ第五條ノ二項ノ中「女子及」ト云フ文字ヲ削リマシテ、女子ニ對シテモ政談集會ノ自由ヲ得サセタリト云フノデアリマス、此案ハ昨年モ既ニ本議會ヲ通過致シタル案デアリマシテ、其趣旨ハ甚ダ簡單デアルノデアリマス、苟モ女子ヲ國民ノ一部トシテ取扱ヒ、人間トシテ取扱フ以上ニ於テハ、殆ド是ハ議論ノ餘地ノ無イ所デアルノデス、然ルニ拘ラズ本案ハ衆議院ニ於テ通過ハ致シマシタケレドモ、貴族院ニ於テ是ガ否決サレタノデアル、即チ人格者トシテ女子ヲ取扱ヒ、又國民ノ一部トシテ女子ヲ取扱フ上ニ於テハ、殆ド問題トナレベキ性質ノモノデナイノガ問題トナリテ居ルノデアル、隨テ私ハ簡單ニ提案ノ此理由ヲ説明シテ見タリト思フノデアリマス、諸君モ御承知ノ如ク立憲政治ノ進歩ト社會組織ノ進化ハ社會ノ有ラユル現象ヲ政治ニ統一調和スルニ至ッ

ノデアリマス、政治ヲ離レテ社會的ノ生存ハナシ、政治ヲ離レテ國民的ノ生存ハナシ、苟モ立憲國ノ治下ニ於キマシテハ男女ノ別ナク、苟モ國民タルモノハ政治ヲ了解シ、國家ノ目的ニ協力スルコトヲ云フコトニ依テ、初テ其所ニ自己ノ生存ヲ意義アラシメ、自己ノ福利ヲ増進スルコトガ出來ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ各國民ヲシテ政治ヲ理解セシメ、政治ヲ理解セシムルコトニ依テ國家ノ發達ニ協力セシムルト云フコトハ、憲法政治ノ理想トシナケレバナラヌ事デアアルト私ハ思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、我國ニ於キマシテモ男女ニ對シテハ、夙ニ有ラユル政治的ノ自由ガ認メテアルノデアル、政談集會ハ勿論デアル、參政權更ニ其選舉權ヲ擴張致シマシテ、今日ニ於テハ普通選舉ヲ實行スベシト云フ議論サヘ各地ニ盛ニナリテ居ル、然ルニ拘ラズ國民ノ半數ヲ占メテ居ル所ノ此婦人ニ對シテハ殆ド政治的ノ了解ノ機會ガ塞ガレテ居ルノデアル、政治的ノ生活カラ全ク隔離サレテ居ルノデアル、若シ國民ノ總動員ト云フモノガ歐洲戰後ノ列國ノ標語デアルト致シマシタラバ、半數國民ヲシテ其手足ヲ縛シテ、而シテ總動員ヲ爲ス事ノ出來ナイ狀態ニ置クト云フ事ハ、世界ノ強國トシテ國際場裡ニ立タシムル所以デナイト私ハ思フノデアリマス、免三角男女ノ區別ナク、政治的生活ノ意義ヲ了解セシメ、而シテ國家ノ進歩ニ貢獻セシムルト云フコトハ憲法政治ノ上ニ於テハ、吾人ノ大ニ努メナケレバナラヌ所デアルト思フノデアリマス、吾々ガ本案ヲ提出致シマシテ、婦人ニ對シテ政治ヲ了解セシムル機會ヲ與ヘテ、除クニ立憲國民トシテ、政治的ノ訓練ヲ積マシテ、而シテ有ラユル國民ノ總動員ヲ爲スノニ、婦人モ男子ト同様ニ、國家ノ生存、國家ノ發達ニ協力シ得ルヤウニ、相當ナル政治的準備ヲナサセヤウト云フノガ、私ノ本案ヲ提出シタル所以デアルノデアリマス、歐羅巴諸國ニ於キマシテハ、所謂婦人ガ政談集會ニ會同スルナドト云フコトハ、疾ノ昔物語ニナリテ居ルノデアル、今日我國ニ於テ斯ル初步ノ政治的問題ヲ論議シナケレバナラヌト云フコトハ、寧ろ吾々ノ大ニ遺憾トスル所デアルノデアリマス、彼ノ參政權ノ問題ノ如キハ理論ノ上カラ言ヒマスレバ、吾々ハ之ニ反對スベキ何等ノ理由ヲ持タナイノデアル、ケレドモ我國ノ民度、我國ノ文化、我國ノ家庭生活、是等ノ點ニ於キマシテ、今日ニ於テ大ニ進ンダル所ノ男子ト同一ナル所ノ婦人ノ政治的自由ヲ云爲スルト云フコトハ、尙ホ時期尙早タルヲ免レマセヌケレドモ、是ハ故原

首相も選舉擴張ノ演説ニ於テ述べマシタルガ如ク、憲政發達ノ結局婦人ニ迄參政權ヲ擴張スルト云フ時期ガ來ルニ相違ナシ、其時期ガ果シテ如何ナル時ニ來ルコト云フコトニ付テハ、俄ニ豫想スルコトガ出來マセヌケレドモ、吾々ハ斯カル時期ノ到來スルコトヲ期スルガ故ニ、今日ヨリシテ先ヅ婦人ニ對シテ政治的諒解ノ途ヲ與フル、此途ヲ與ヘテ政治ニ對スル修養ト訓練ト云フモノヲ積ミマシテ、次第ニ結社ノ自由デアルトカ、或ハ投票權ノ行使デアルトカ、是等ノ途ニ婦人ヲシテ漸次ニ進マシムルヤウニ相當ナル準備ノ機會ヲ與ヘテヤル必要ガアルト思フデアリマス、此意味ニ於キマシテ吾等ハ先ヅ今日ニ於キマシテハ、婦人ヲシテ政治的諒解ヲ得セシムル所ノ政談集會ト云フモノ、自由ヲ認メテ、而シテ國民トシテ政治的訓練ヲ婦人ガ自カラ積ムヤウナ機會ヲ與ヘンコトヲ希望シテ已マナイモデアリマス、本員ガ本案ヲ提出致シマシタノハ此趣意ニ外ナラナイデアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 日程第九——野田文一郎君

(野田文一郎君登壇)

○野田文一郎君 治安警察法ハ頗ル古キ法律デゴザイマシテ、進歩シタル現代ニ適應セザルコトハ何人モ認ムル所デアリマス、唯如何ナル程度ニ於テ改正ヲ企テタルコト云フコトガ、實際ニ吾々ノ理想ヲ實現シ得ルヤト云フコトガ問題デアリマス、殆ド提案ノ理由ニ付キマシテモ説明ヲ要シナイト信ズル位デアリマス、昨年ノ議會ニ於キマシテモ同様ノ改正案ガ出マシテ、衆議院ハ此内ノ一部ニ付テハ既ニ通過ヲ致シテ居ルデアリマス、重ネテ茲ニ其理由ヲ詳細申上ゲル必要ハナイト信ジマス、吾々ノ改正案ハ矢張昨年ト同ジク第五條ノ第二項女子ノ政談集會ニ會合ヲシ其發起人トナルト云フコトニスルト云フ此點ガ第一點デアリマス、其次ハ第十七條ノ第一項中ノ他人ヲ誘惑又ハ煽動スル云々ト云フコトノ點ヲ削除スル、此二點デゴザイマス、第一點ニ付テ簡單ニ説明ヲ致シマス、勿論男子ト女子トハ先天的ニハ其性格ヲ異ニシ、國家社會ニ盡シマスル上ニ於テ各、其職分ヲ異ニ致スト云フコトハ當然ノ事デアリマス、女ノ爲シ得ル事ニシテ男子ノ爲シ能ハザル事ガアルシ、男子ノ爲ス事ニシテ女ノ能ハザル事モアルデアリマス、之ハ實ニ自然ノ結果デアリ、併ナガラ女子モ齊シク帝國ノ國民デアリマス以上ハ、政治上ニ於テ自己ノ生存權ヲ主張スルト云フコトハ是ハ當然ノ事デアリ、故ニ此見

地ヨリ考ヘマスレバ、女子ノ集會結社ノ自由モ認メ、更ニ進ンデ選舉權ヲ與ヘルト云フコトガ當然ノ事デアッテ、斯クアラネバナラスノデアリマス、併ナガラ社會ノ現狀ハ一時ニ左様ナ理想ヲ實現スルコト云フコトハ實際ニ於テ困難デアリ、ソレ故ニ吾々ハ先ヅ第一歩トシテ、前申シマスル如ク吾々ノ婦人ニ對スル理想ヲ實現スル可能性ナモノヲ取テ以テ改正ヲ試ミナケレバ、唯理想ヲ主張スルノミデハ、實際ニ於テ婦人ノ人格ヲ認メ、婦人ヲシテ國家社會ニ盡シメルト云フコトニ實效ガナシト信ジマス、故ニ、寧ろ不十分デアリ位ニハ考ヘマス、先ヅ女子ノ政談集會ニ會合ヲシ、若クハ是等ノ會ノ發起人トナルト云フコトノ自由ヲ許ス、此程度ニ於テ今日ハ満足スルノ外ハナイト信ジマシテ此點ヲ削ッテデアリマス(拍手)申ス迄モナク立憲政治ノ完成ハ國民ガ政治的ニ優秀ニナラナケレバナラス、國民ヲ政治的ニ優秀ナラシメルニハ教育ノ力ニ待タナケレバナラスト云フコトハ勿論デアリ、而シテ教育ハ家庭ニ待ツ所頗ル多キコトモ亦論ヲ俟タナイコトデアリマス、故ニ婦人ニ對スル問題トシテ良妻賢母ヲ主張スル側カラ申シマシテモ、家庭ニ於ケル婦人ニ對シテ政治上ノ智識ヲ與ヘテ、サウシテ政治的優秀ナル國民ヲ多數ニ造ルト云フコトハ、何人モ異論ノナイ所デアリト信ジマス(拍手)此意味ニ於テ婦人ニ政談集會ニ會合シ、若クハ會ノ發起人トナルト云フコトヲ許ス爲ニ改正案ヲ提出シタ所以デアリマス、其次ノ第十七條ノ一部ヲ削リマシタ理由ハ、是モ實ハ勞働問題ニ付テ今日ノ如ク理解ノ無イ時代ニ於テハ、勞働者ノストライキト云フモノハ、直ニ之ヲ以テ頗ル罪惡視シタ時代ガアッタデアリマス、併ナガラ今日ニ於テハ勞働者ノ團結權ヲ認メナケレバナラスト云フコトハ、殆ド何人モ異論ヲ挾ムコトノ出來ナイ程度ニ迄此勞働問題ハ進歩ヲ致シテ參ッテ居ルデアリ、ソレ故ニ昨年ノ夏神戸ニ於ケル大勞働爭議ノ場合ニ於テモ、是ハ砂田君モ一言ヲ致シマシタ、第十七條ノ規定ハ實際ニ於テ適用ヲ致シコトハナイ、所謂今日ハ治安警察法第十七條ハ法ノ不使用ノ狀態ニナッテ居ルデアリマス、昨年ノ委員會ニ於キマシテハ此煽動、誘惑ト云フコトハ不正ノ意味ヲ持ッテ居ルモノヲ指スノデアッテ、不法性ノナイモノハ法ノ禁ズル所デハナイト云フヤウナ政府委員ノ説明モアッタト云フコトヲ伺ヒマシタ、其不法性ナリヤ否ヤト云フガ如キコトハ、實際ニ於テ此勞働運動ノ場

合ニ見ルト云フヤウナコトハ事實ニ於テ出來ナイコトデアリ勞働運動、ソレ自體ガ今日ニ於テ一ノ社會問題、社會運動トシテ認メラレ、而シテ同盟罷工モ亦勞働者ノ一種ノ權利デアリト認メラレル今日ノ時代ニ於キマシテハ、此勞働者若クハ資本家ノ結束行動ニ對シテハ煽動若クハ誘惑ヲスルト云フヤウナコトニ付テ、現行ノ如ク古キ思想ノ法律ヲ存スルト云フコトハ、今日ノ時代ニ於テハ全ク時代錯誤デアリト信ジマス、故ニ、少クモ第十七條ノ此點ハ削除ヲ致サナケレバナラスト思フデアリマス、要スルニ婦人ノ自覺ノ力ヲ第五條ニ於テ之ヲ認メ、勞働者ノ自覺ノ力ヲ第十七條ニ認メテ、此二點ニ付テ改正ヲ試ミントスルモノデアリマス、最初ニ申ス如ク吾々ハ之ヲ以テ未ダ完全ナル改正ナリトハ信ジテ居ラスノデゴザイマス、或ハ委員會等ニ於キマシテ各條ニ互ッテ意見ヲ交換ヲ致ス場合ニハ、更ニ多少ノ修正ヲスルコトモ固ヨリ辭シナイデアリマス、慎重ナル御審議ノ上御賛成アラント希望致シマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 日程第十松本君平君

(松本君平君登壇)

○松本君平君 本員ハ無所屬ヲ同志ヨリ提出致シマシタ治安第五條改正ノ法律案ヲ説明スベク此壇ニ上ッタルデアリマス、本案ハ一昨年ニ於キマシテ、吾々ノ僚友タル田淵君ヨリ詳細ニ本案提出ノ理由ヲ説明サレマシタ、引續イテ今年又同ジ法案ヲ提出致シタデアリマス、其理由モ少シモ變ル所ハナイデアリマス、且ツ婦人ニ政談結社ノ自由ヲ許スト云フ此案ハ、既ニ各派ヨリ御提出ニナリマシテ此點ハ殆ド一致シテ居ルデアリマス、只政友會ガ婦人ニ政談ノ自由ヲ認メテ、結社ノ自由ニ賛成シナイト云フコトデケデアリマス、是ハ吾々ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、免モ角モ婦人ニ政談ノ自由ヲ許スト云フコトハ、既ニ昨年ノ議會ニ於テ一致シテ議論デ、衆議院ヲ通過シタデアリマス、恐ラクハ本年ノ此議會ニ於キマシテモ同様ノ結果ヲ見ルコトデアラウト信ジテ居リマス、ケレドモ昨年ノ議會ニ於テ貴族院ガ此反對ニ立タレテ、婦人ノ政談結社ノ自由ヲ許スト云フコトヲ絕對ニ反對ノ地位ニ立ッテ、此案ヲ否決シタノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナル事デアリマス、其論ズル所ノ要點ハ婦人ニ政談結社ノ自由ヲ許スト云フコトハ、團體ニ反スト云フ議論デアリマス、最早斯ノ如キ頑迷不靈ノ議論ハ此衆議院ノ中ニハ無イト思ヒマス、尙ホ貴族

院ニ於テ斯ノ如キ議論ガアルトシテ、再ビ此法案ニ對シテ否決ヲスルヤウナ事ガアレバ、是ハ實ニ衆議院ノ國論ヲ代表シタル議論ニ對スル貴族院ノ一ツノ挑戰ト見ナクレバナラヌト思フノデアリマス、今日婦人ガ政治上ニ於テ最も必要ナル要素デアリ、又現代ノ文化ヲ建設スル上ニ於テ婦人ノ感情理性ト云フモノヲ、政治ノ方面ニ注グト云フコトハ新シキ文化ヲ建設スル上ニ付テ、非常ニ大切ナル事デアラウト思フノデアリマス、從來我國ノ政治ガ單リ男性ノ政治デアッテ、此政治ノ根柢ニ婦人ノ要素ヲ缺イテ居ルト云フコトハ、文化ノ性質ニ於テ甚ダ缺點トスル所ト思フノデアリマス、華盛頓會議ガ起ラノモ、其根柢ニ於テハ婦人ノ政治ニ於ケル勢力ノ變動デアリマス、世界平和ノ聲ガ盛ニ起タノモ此婦人ノ感情及理性ガ政治ニ入テ來タ新シキ文化ノ性質ヲ表明スルモノデアリマス、現代ノ政治、社會、總テノ人間生活ノ基礎ニ於テ、男性ニ加フルニ女性ノ新シキ理性ト感情ヲ以テ、新シキ文化ヲ建設スルト云フコトガ最も大切ノ事デアラウト思フノデアリマス、然ルニ此問題ガ貴族院ノ方面ニ於テハ國體ニ反スルコトダ、婦人ガ政論ヲ爲シ、結社ノ自由ヲ與ヘラレルト云フコトハ國體ヲ破壞スルモノナリト云フ議論ハ、恐ラクハ尙ホ貴族院ノ一部ニ強イ議論トナッテアリハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、今日ノ日本ノ國體ガ婦人ニ依ッテ何等變動ヲ起スベキモノデナイコトハ無論ノ語デアリマス、殊ニ我國ノ國體ノ根本ニ於テハ婦人ト云フモノ、即チ一番ノ吾々ノ民族ノ祖先ハ天照大神、此御方ハ婦人デアアル、最古ノ社會組織ニ於テハ、或ハ婦人ガ一番政權ノ本デアツカモ知レヌ、斯ウ云フ理由ニ於テ日本ノ國體ガ破壞サレルト云フヤウナ間違タル議論ガ、若シ貴族院ノ方面ニアリトスレバ、是ハ實ニ現代ノ思想ヲ誤タル又世界ノ文化ノ理想ニ遠ザカルモノト謂ハナクレバナラヌノデアリマス、無論本年ノ議會ニ於テハ、衆議院ハ昨年ト同ジヤウニ必ズ此法案ハ通過スルモノト私ハ信ジテ居リマス、尙ホ此議論ガ既ニ國論ヲ代表スル所ノ議論デアリトスレバ、貴族院方面ニ於ケル卑屈ナル、婦人ヲ矢張政治ヨリ放逐シテ婦人ト云フ者ハ唯飯ヲ焚イテ洗濯ヲスレバ宜イ、是ガ婦人ノ天職デアルト云フヤウナ固陋ナ見解、人類ノ或ハ民族ノ半バヲ有シテ居ル所ノ此婦人ノ生活ヲ無視スルト云フコトハ、又其向上ヲ妨ゲルト云フコトハ、全ク時代錯誤ノ議論ト謂ハナクレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ本案ノ提出ヲシタ

理由ハ已ニ昨年ト同ジ事デアリマスガ、尙ホ今年ニ於テハ衆議院ノ議論ハ一ツノ國論ト之ヲ認メテ、進ンデ貴族院ヲシテ此衆議院ノ議論及感情ニ一致サセムコトヲ願ッテ此壇ヲ降ル者デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 日程第七ヨリ第十二至ル四案ハ、之ヲ一括シテ議長ノ指名シタル特二十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハナナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——本日ハ是デ日程ハ總テ議了シマシタ、明日ハ本會日デゴザイマスクレドモ、格別議案モゴザイマセヌカラ、明日ハ休會致シマス、次デ開ク日ハ來ル四日ノ土曜日デアリマス、土曜日ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、是ニテ散會

午後四時七分散會

衆議院議事速記録第五號正誤

頁	段	行	誤	正
五八	上	一六	依然改良	威權ヲ缺ク
五八	中	一九	萬	億
五八	下	二八	二十六七	六七
六六	下		三十三行「床次内相以テ如何ト爲スレヲ三十二行(拍手)ノ次ニ加ヘ	
			三十三行(此時發言スル者多シ)ヲ次ノ行ニ入ル	

